

医協資第37号



# 《西部マレーシア衛生 活動発展の概要》

昭和44年4月

海外技術協力事業団

Overseas Technical Cooperation Agency

国際協力事業団

受入 月日 '84.3.22	113
登録No. 01243	98
	MC

は し が き

本書は西部マレーシアに関する衛生関係資料の翻訳である。第1部と第2部に分れている。

マレーシアに関する資料が少ない現在、これは貴重な資料となるであろう。

翻訳したのは、次の資料である。

- 1 西部マレーシア衛生活動発展の概要
- 2 西部マレーシア衛生統計
- 3 1967年マレーシア大洪水—活躍するマレーシア赤十字社—

昭和44年4月

海外技術協力事業団

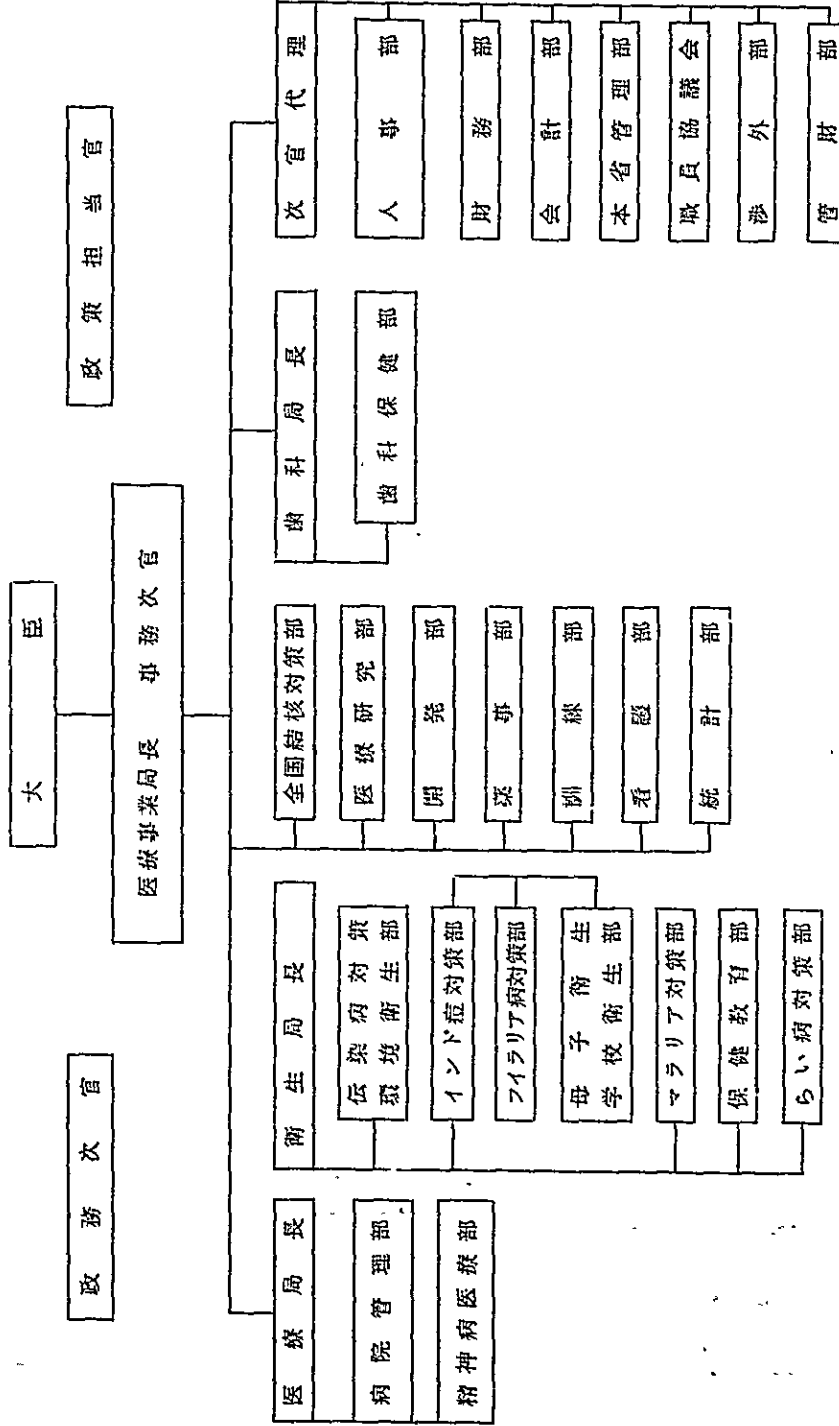
理事長 波 沢 信 一

JICA LIBRARY

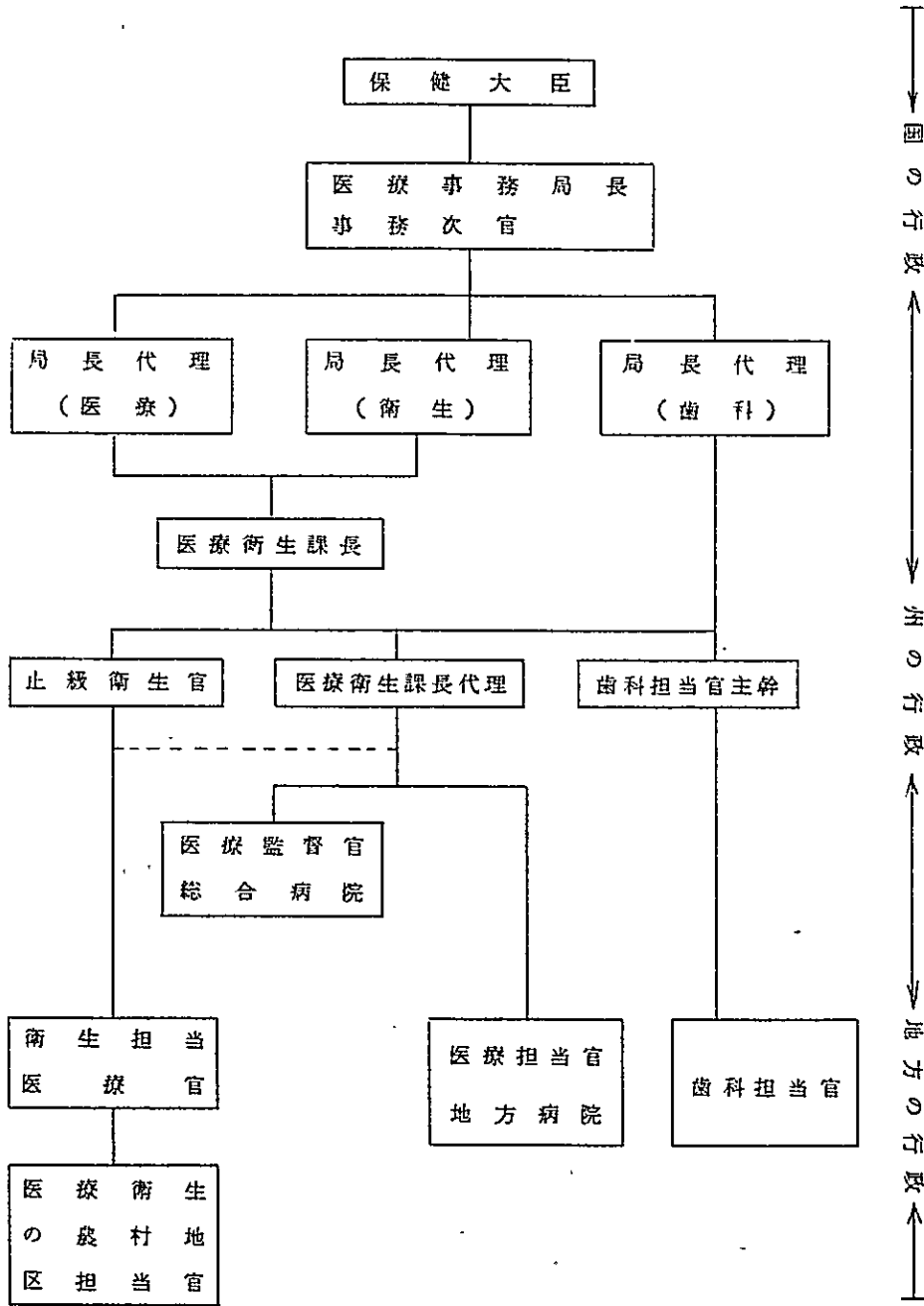


1059965[2]

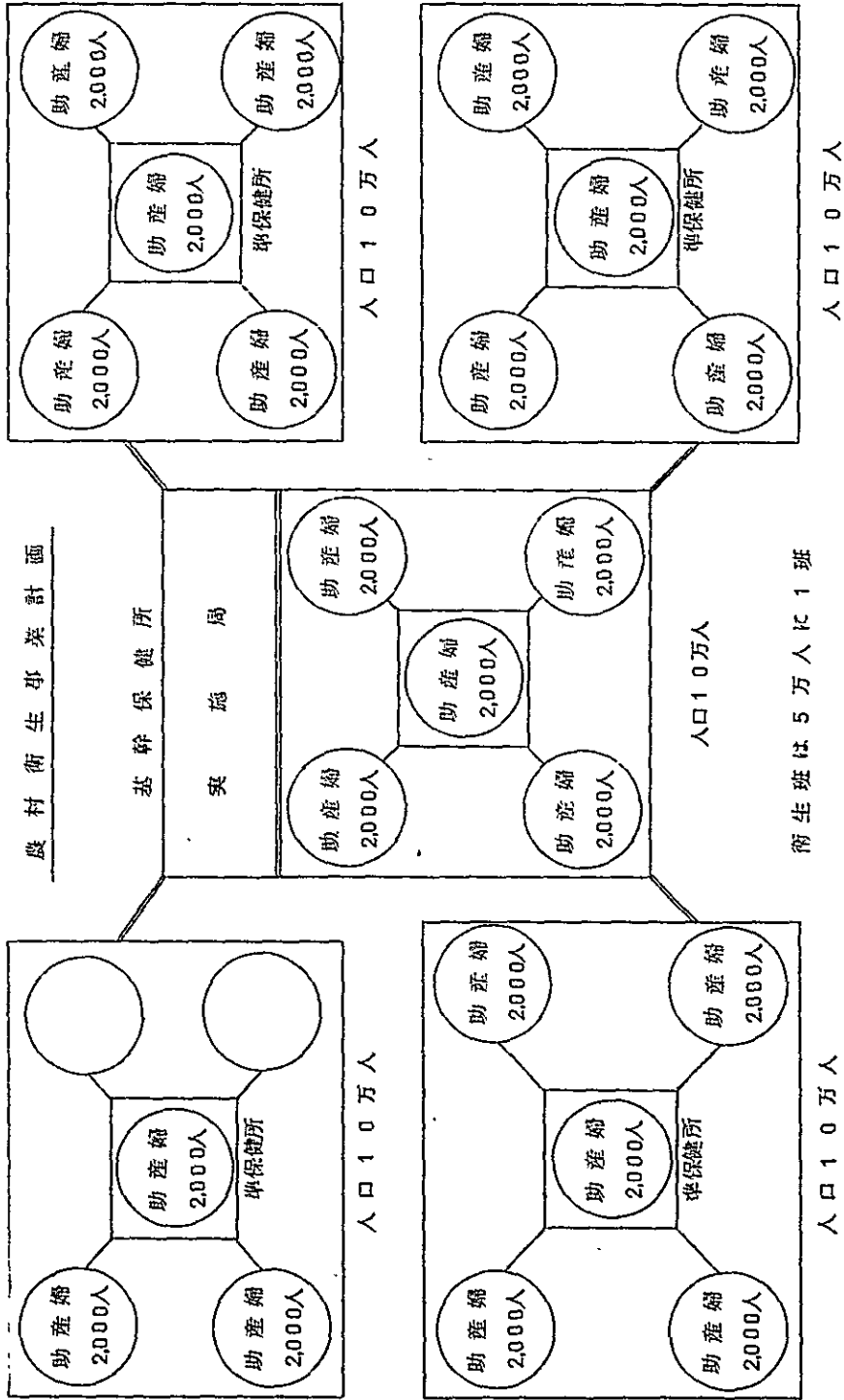
保健省行政機構図

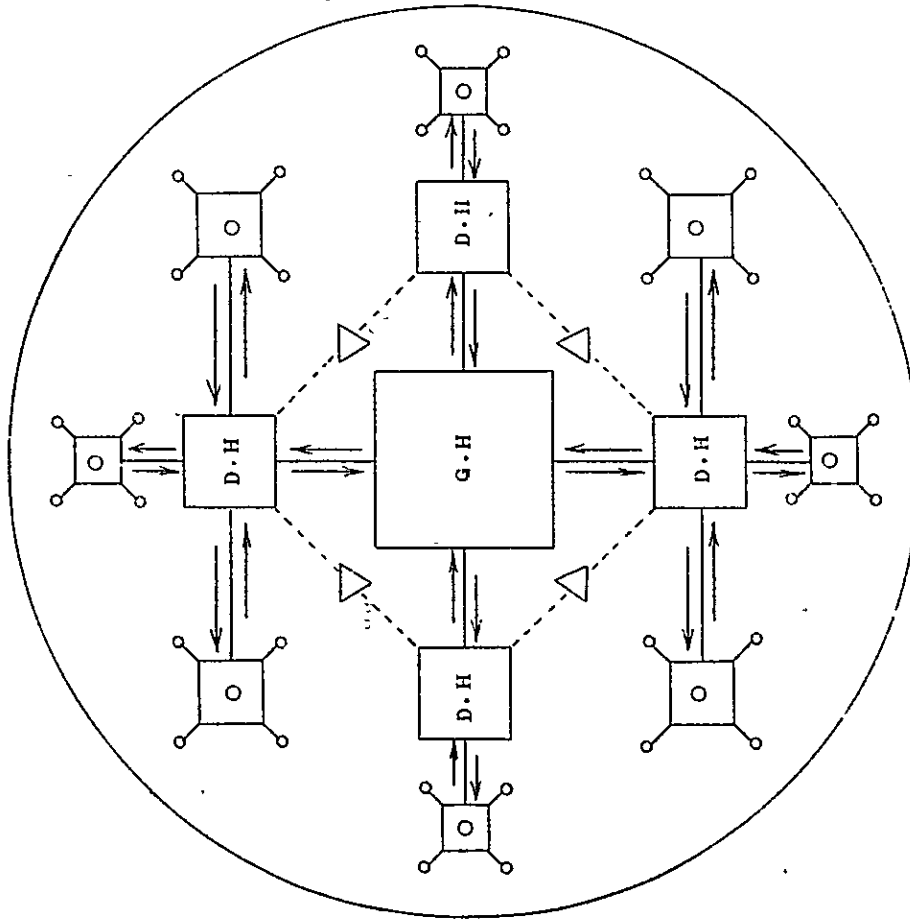
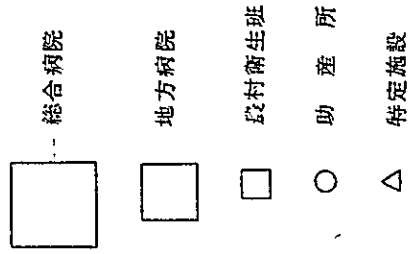


州行政の機構図



マレーシア保健省  
農村衛生事業計画





総合病院，地方病院，農村衛生班の相互医療保健事業関係の図解

## 目 次

西部マレーシア衛生活動発展の概要	1
I  紹       介	1
II 公衆衛生行政	1
III 衛生全般について	1
IV 医       療	2
V 農 村 衛 生	3
VI 歯 科 衛 生	4
VII 要員訓練計画	5
VIII 公衆衛生対策	5
(a) 伝染病対策	5
(b) 結核対策	5
(c) マラリア対策	6
(d) インド痘対策	6
(e) フィラリア対策	6
(f) らい病対策	6
(g) シフテリア対策	7
(h) ポリオ対策	7
(i) 腸チフス対策	7
(j) 精神衛生	8
IX 栄       養	8
X 結       び	8



( 付 録 )

付録Ⅰ 保健省機構図	9
付録Ⅱ 州の機構図	10
付録Ⅲ マレーシアに於ける要員訓練センターおよび訓練学校	11
付録Ⅳ 1965年度マレーシアにおけるジフテリア発生件数	12
付録Ⅴ 1965年度マレーシアにおけるポリオの発生件数	13
付録Ⅵ 1965年度マレーシアにおける腸チフスの発生件数	14

西部マレーシア保健統計	15
-------------	----

人口動態統計

人口ピラミッド(1962年, 1972年, 1982年)	15
人口(1956年-1965年)	18
民族別および州別分類	
出生(1956年-1965年)	20
民族別出生数と州別出生数	
死亡(1956年-1965年)	22
民族別死亡数と州別出生数	
幼児死亡(1956年-1964年)	24
幼児死亡数合計, 民族別幼児死亡率, 州別幼児死亡率	
母子死亡率(1964年)	26
州および地域別母子死亡率	
人口動態統計の各種の率	28
普通出生率, 普通死亡率, 新生児死亡率, 幼児死亡率, 児童死亡率, 死産率, 母親死亡率, 人口自然増加率	

病院統計

国立病院および施設(1956年-1965年)	30
科別ベッド数	
国立病院ベッド数	32
専門病科ベッド数の州別分類, 人口に対するベッド比率	
国立病院入院患者数(1964年, 1965年)	34
州, 民族, 性, 年齢別による入院数	
国立病院外来患者数(1964年, 1965年)	36
病院, 診療所, 巡回診療所の州別分類	
国立病院状況(1964年および1965年12月現在)	38
使用率, 入院期間, 転換期間	
ゴム会社および鉱山会社附属病院, 民間病院助産所の状況(1965年)	48
ベッド総数, 入院患者, 外来患者, 分娩および要員数の州別分類	

衛生統計

農村衛生事業	
事業発展状況(1961年-1965年)	50
農村衛生事業および母子衛生診療所	
受診者数, 応診および分娩の州別分類(1961年-1965年)	52
国立および私立の施設における出生数(1964年)	54
出生数および全登録出生数に対する州別割合(%)	
国立および私立の施設における出生数(1965年)	56
出生数および全登録出生数に対する州別割合(%)	
西部マレーシアにおける伝染病発生件数	58
州別分類(1961年-1965年)	
国立病院およびゴム会社附属病院にて扱われたマラリアの件数	60
州別分類(1961年-1965年)	
ジフテリア発生件数(1961年-1965年)	62

州別分類	
シフテリア発生内訳(1965年)	64
州、性、民族、地域、年齢、診断方法別による分類	
腸チフス発生件数(1961年-1965年)	66
州別分類	
腸チフス発生内訳(1965年)	68
州、性、民族、地域、年齢、診断方法別による分類	
ポリオ発生件数(1961年-1965年)	70
州別分類	
ポリオ発生内訳(1965年)	72
州、性、民族、地域、年齢、ポリオの種類、診断方法別による分類	
西部マレーシアに於ける天然痘発生(1946年-1965年)	74
マレーシアにおけるコレラの流行(1902-1965年)	76
州別によるシフテリア免疫対策(1964年-1965年)	78
州別による天然痘免疫対策(1964年)	80
州別による天然痘免疫対策(1965年)	82
州別によるB・C・G接種運動(1964年-1965年)	84
港湾検疫業務	86
空港検疫業務	88
效    対    策(1964年-1965年)	
<u>歯科統計</u>	
常設および臨時歯科医院数(1965年)	90
州別分類	
歯科患者数(1964年-1965年)	92
州別分類	
西部マレーシアにおける歯科衛生事業(1965年)	94
歯科医師および歯科看護婦が行なつた業務の概要	

その他の統計

衛生事業発展状況	95
献血および輸血(1964年-1965年)	100
要員訓練計画(1961年-1965年)	102
地域に設立された訓練学校、訓練センター	
西部マレーシアの主な都市、州における開業医(国立および民間)(1966年 1月1日現在)	104
西部マレーシアの歯科医、登録歯科医、歯科看護婦および歯科技士の州別分類	106
1967年マレーシア大洪水	109
- 活躍するマレーシア赤十字社 -	

## 西部マレーシア衛生活動発展の概要

マレーシア保健省

## I 紹介

西部マレーシアは元のマラヤ連邦 (The Federation of Malaya) の11の州より成り、総面積は51,000マイルである。気温は華氏70°~90°で、湿度は比較的高く、年間降雨量は120~160インチである。1965年度の推定人口は800万を少し上回り、全人口の約60%が19才以下である。

## II 公衆衛生行政

マレーシアが開発段階初期の頃にはその医療奉仕事業や衛生事業はほとんど政府によって行なわれていた。しかし最近ではゴム会社や鉱山会社の附属病院および宗教団体や民間団体の私立病院が多く建てられるに至って、公衆衛生事業が以前のように政府だけが行う事業という状態からだんだんと脱皮している。

1932年まで政府の医療行政はマラヤ連邦州とマラヤ非連邦州の管轄下にある部と海峡植民地 (the Straits Settlements) の管轄にある部のはつきり分かれた2部によつて行なわれてきた。しかし1932年それらの部は専門の長を持つ機関に合同統合した。その長は従来の植民地に対しては「局長」として行政上の権限を持ち、又連邦州や非連邦州に対しては「顧問」としての職能を持っている。1948年にマラヤ連邦協定によって、医療および衛生行政は精神病院やらい病施設等のいくらかの連邦施設を除いて原則的に州政府の所管に移行された。しかし1957年マレーシアの独立にもなつて医療衛生行政は地方自治体や地方官庁の直接関係する予防対策を除いて連邦政府の管轄に再び移行された。1963年マレーシア連邦の成立とともに、サラワクの医療衛生行政は連邦政府の所管に移されたが、サバ州では依然として州政府が管轄している。

付録I、IIは本省及び州、地方自治体の機構図を示したものである。

## III 衛生全般について

国民の全般的衛生状態は前年度に引続き着実に進歩していて、1965年度には流行病の発生は一件もなく、この年はまさに医療衛生活動の整備拡張のために総額116.70万マレーシアドルを費して推進された第2次5カ年計画(1961~1965年)の最終年度を飾るのにふさわしい年であったといえる。その他に労働者(The Ministry of Works)では約1,4000万マレーシアドルを使って上下水道の建設と改善を行い、また農村開発省(The Ministry of Rural Development)は約2億万マレーシアドルを費して全人口

の60%を占める農村人口の社会的、経済的生活水準を向上せしめるための諸対策を行った。

1965年度の衛生事業活動に対する連邦政府の支出は119,200万マレイシアドルで、この中には各州政府がその都市や町の水道施設の維持、改善を計るためや衛生事業活動を行うために費された金額は含まれていない。次の人口動態表はマレイシアの衛生水準がいかに着実に向上しているかを示すものである。

表I 人口、年度人口増加率、普通出生率、普通死亡率、比較死亡率

年  歴	人  口 (年度中期)	年度人口 増加率	普通出 生  率	普  通 死  亡  率	比  較  死  亡  率			
					新生児	幼  児	児  童	母  親
1957	6278758 (国勢調査)	3.5	4.62	12.4	3.0	7.5	1.1	2.8
1958	6498758	3.0	4.33	11.0	3.2	7.9	9	2.8
1959	6697827	3.3	4.2.2	9.7	2.9	6.6	8	2.1
1960	6909009	3.0	4.0.9	9.5	3.0	6.9	8	2.4
1961	7136804	3.3	4.1.9	9.2	2.9	6.0	8	2.0
1962	7376031	3.3	4.0.4	9.4	3.1	5.9	8	2.3
1963	7607295	2.8	3.9.4	9.0	2.9	5.7	7	2.2
1964	7810205	2.8	3.9.1	8.1	2.5	4.8	6	2.1
1965	8035530 (仮の)	N.A	N.A	N.A	N.A	N.A	N.A	N.A

N.A = まだ集計されていない。

#### IV 医 療

現存の59の病院(総合病院10; 地方病院49)の設備拡張と改善および新しい病院の建設のために第2次開発5カ年計画の中に総額7,400万マレイシアドルに及ぶ予算が組まれた。又、マラヤ大学医学部附属病院、セランゴール州の新しい病院、クアララムプール、セレンパンの総合病院およびデウガンの地方病院に代る新しい3病院の建設が現在進行中であり、すて

に完成したものもいく病院がある。現存の病院の改造、新築や拡張の他に、クアラランプールの総合病院に220ベッドを有する産婦人科病棟が、又、セランゴール州タンジョンカランに57ベッドを有する地方病院やトレガンヌー州のダンガンに78ベッドを備えた地方病院が建設された。その他に756ベッドを備えた教育病院が今年の終りまでには開院される運びであり、又、クアラランプールやセレンパンの2つの総合病院の建築工事が目下予定通り進行中である。国立病院の総合ベッド収容能力は1957年には20,337ベッドであったが、1965年までに25,888ベッドまで増加された。しかし、医療の必要性は年々増大し、次の表Ⅱに示されているように1957年以来ほとんど2倍にまでなっている。

表Ⅱ 病院の収容能力数と外来患者数

	1957	1965
収容能力数	271,490	433,393
外来患者数	3,281,966	5,952,787

国立病院の他に、会社附属の病院、民間病院や助産院が数多くあり、それらのベッド数は合計約5,920ベッドで1965年度中にそれらの病院で治療を受けた患者数は入院患者が102,400人、外来患者が115万人になっている。

新に薬品研究所が建設されたり、又、新しい薬品や5,400万マレイシアドルを投じて建設された薬品貯蔵施設を有する中央医薬品ストアーが設けられて、薬品および製剤の供給制度や医療および衛生の施設が全国にわたって著しく整備、改善された。

## V 農村衛生

マレイシア全人口の約60%は農村地帯に住んでいる。しかしその反面医療および衛生対策の面では昔から遅れんじられてきた。これらの点を考慮して農村地帯における医療奉仕および衛生活動の拡充を基幹保健所および準保健所や助産所等の一連の衛生施設の建設を通して優先的に取り上げ実行に移してきた。

1957年までにマレイシアには4基幹保健所しかなかったが、現在までに約3,300万



レイシアドルを費して39基幹保健所、125準保健所と654助産所が設けられ、300万以上におよぶ農村地帯の人々が基礎的な医療や衛生のサービスの恩恵を受けている。その他診療所300、移動診療所164が農村地帯に設けられ、農村衛生対策と取り組んでいる。

次の農村地帯に於ける患者数と医療衛生施設の仕事をみれば農村地帯に於ける医療奉仕および衛生事業がいかに増大しているかを知ることができる。

表Ⅲ 保健所、その他での受信回数、応診、家庭分岐

保健所、診療所 (移動も含む) の受診者合計	1960	1961	1962	1963	1964	1965
	5,136,336	5,114,419	5,682,426	6,661,069	6,721,261	6,969,894
応 診	843,073	941,819	961,360	1,137,037	1,292,164	1,484,767
分 岐	44,759	50,119	53,246	59,436	62,561	64,555

農村地帯に多くの衛生施設が建設され、更に環境衛生活動に従事する公衆衛生検査官や公衆衛生監督官の数が増えるにつれて、環境衛生事業はますます農村地帯に押し進められていった。現在213名の公衆衛生検査官と395名の公衆衛生監督官が農村地域の給水設備の整備改善ゴミおよび尿処理設備の改善、食品製造所の立入り検査、伝染病検査および汚染家屋の消毒や衛生教育等の農村衛生対策活動に積極的に取り組んでいる。

## VI 歯科衛生

医療活動および衛生活動と同様に、歯科衛生活動も主に農村地帯に重点を置いて展開され、現在322ある歯科医院の60%は農村地帯にある。歯科医院の増加とともに、患者の数も表Ⅳのごとく増加していった。

表Ⅳ 歯科医院と患者数

歯科医院数	1960	1961	1962	1963	1964	1965
	146	230	267	269	287	322
患者数	655,140	754,896	851,168	849,672	928,118	1,014,533

歯科衛生活動推進のため第2次5カ年計画では105万マレイシアドルが計上された。

## Ⅶ 要員訓練計画

医療奉仕、衛生事業の拡充と同時にそれに従事する要員の訓練計画も大いに拡大された。補助的医療および衛生事業に携さわる要員の数もかなり改善され年々増加の傾向にあるが、しかし医師、歯科医、外科医および薬学者に関するかぎりかなり深刻な人手不足の状態に悩まされている。しかしながら新に設立された医学部が年間最低100人から120人の医師を養成し、又歯科学校や薬学校が予定通り開校するところにはこの様な医師、歯科医、薬化学者等の深刻な不足状態も解消されるであろうと期待される。その時期まで外人要員を契約して雇いその間のギャップを乗り切るためにあらゆる試みがなされている。

第2次5カ年計画では当初355万マレイシアドルの予算が組まれ、医学校の建設、補助医療要員、衛生要員等のための訓練センターや訓練学校の建設、訓練参加者のための宿泊施設建設等が行なわれた。(付録Ⅲ、「マレイシアに於ける訓練センターおよび訓練学校」参照)

その他に、医学的および衛生的なあらゆる原理の研究や補助医療および衛生の基礎的、応用的研究を行うために政府のスカラシップ、コロポ計画、W・H・O(世界保健機関)のフェロシップやその他の方法を利用して過去10年間に1000人以上に及ぶあらゆる分野の要員が外国に派遣された。又、いろいろな機会をとらえ国のために有益だと世われる国際セミナーや会議等に参加者を送ってきた。

## Ⅷ 公衆衛生対策

### (a) 伝染病対策

- (i) コレラ：コレラは1964年12月の発生を最後に1965年12月クアラランプールで例外的に発生した一件を除いてはその後一件の発生もない。
- (ii) 天然痘：1965年度天然痘の発生は一件もなく、同年度中に第1回目のワクチン接種を受けた者が252,960人で、第2回目のワクチン接種を受けた者は153,186人になっている。1965年度中に全幼児数の28.17%がワクチン接種を受けたことになる。
- (iii) 黄熱病(しらみによる)発疹チフス、ペスト、回帰熱等の発生はまだ一件も報告されていない。

### (b) 結核対策

1961年にスタートした全国結核対策運動は1964年になって全面的な活動を展開す

るようになり、更に州や地方の各保健所にまでその活動を拡げるに至った。この運動が開始された時から現在まで90万人がX線検査を受け、52,022人が肺結核の疑いありとされ、精密検査の結果その中で更に26,010人が肺結核であると診断された。

1965年度中に総数120万の新生児と特定グループの人々がBCG接種を受けた。以前まではツベリクリン反応テストを受けずにBCG接種を受けることが出来るのは新生児だけに限られていたが、1966年からは6才以下の子供はすべてツベリクリン反応テストを受けずにBCG接種をすることが出来るようになった。

(c) マラリア対策

以前に行なわれたマラリア撲滅運動は満足ゆく成果をあげ、更に全国的なマラリア撲滅運動の計画が検討されている。その運動の最終的計画も出来上がり政府の承認を得るために間もなく提出されるであろう。

(d) インド痘対策

インド痘は公衆衛生問題としてはもうあまり重要でなく、現在のところもっぱらその撲滅対策に努力が払われている状態である。多発地として知られている地域においてもインド痘の発生率はすでに「固定レベル (Consolidation Level)」の線をはるかに下回り、それらの地域でも間もなく「解放地域 (free areas)」となる所もいくらかあるだろう。しかし、WHO (世界保健機関) の定めた規準まで到達して初めてインド痘を完全に撲滅出来たといえるのである。

(e) フィラリア病対策

医療研究所は過去30年間にわたってフィラリア病の研究と取組んできた。現在専門家で構成される6つの班がその病気の多発地域で研究およびその対策活動を行っている。しかしながらこの病気の研究対策のためには遠く奥地に長いこと滞在しなければならないから人員がなかなか集らないうえにやめて行く要員も多く、フィラリア病対策の発展は必然的に遅れざるを得ない状況である。そのような問題に加えて、保菌生物に対する措置が充分講じられていない地域では保菌動物を通して第2次感染するという問題も出てきている。しかしこの病気に対する対策強化のためにあらゆる努力が払われている現状である。

(f) らい病対策

現在らい病対策の重点は隔離施設内での治療から、伝染性の恐れなしとされた歩行患者への追せき治療対策へと移された。現在らい病患者隔離施設として大規模なものが2カ所、少規模なものが3カ所あり、収容可能ベッド数は総計3,935で患者の収容と治療にあたって

いる。伝染性の恐れのないらい病患者を追せき治療するために「皮膚診療所」の建設が全国にわたって進行中であり、それらの「皮膚診療所」建設のため、第1次マレイシア計画（1966～1970）では150万マレイシアドルの予算が計上された。また、これらの「皮膚診療所」の仕事を調整援助したり、又伝染性の恐れのない患者の追せき治療および対策を中央レベルで調整するために国立らい病患者登録所が設立された。

(g) シフテリア対策

マレイシアではシフテリアにかかる患者は都市居住者に多くいる。しかしこの病気もすでに公衆衛生においては重要な問題ではなく、シフテリアの大流行ももうないであろうと予想される。それでも現在のところシフテリアの発生率は人口10万に対して1848%である。

シフテリア予防対策として0才～10才の感染しやすい年齢群の児童を対象にシフテリアトクソイドや特にトリプル抗原を大量に使った予防注射の接種が行なわれた。1965年度中にシフテリアトクソイドやトリプル抗原体の第1回目の接種を受けた児童数は138,899人で、更に第2回目の免疫注射を受けた児童数は85,669人で、全児童の61.6%となつている。しかし保健所や衛生教育の普及を通じて、更に多くの人々が免疫注射を受けることが望まれている。（1965年マレイシアに於けるシフテリア発生件数参照）

(h) ポリオ対策

マレイシアではポリオの発生はいくらかあるが公衆衛生の問題としてあまり重要でない。その発生率は人口10万に対して4.97%で、特に都市地域での発生件数が非常に多く全体の63.4%となっている。この病気は主に若い人々の間に多く、特に10才以下の児童の発生率が全体の96.2%で、その中でも更に男性に多く発生しているという現象が見られる。また人種あいは民族別にみると中国人の発生率が53.6%と非常に高いが、都市地域に住んでいる中国人の割合が非常に多いことからこの現象も容易に理解することが出来る。（付録表V、1965年度マレイシアに於けるポリオ発生件数参照）

(i) 腸チフス対策

1965年度の腸チフス発生率は人口10万に対して15.10%の比率で、その中の635%は農村地帯で発生している。又民族別に見てゆくとマレイシア人の発病率が65.82%と非常に高くなつている。これはマレイシア人が農村地域に多く住んでいるための現象である。

ここで特に注目しなければならないのは、10才以上の年齢群、特に15才～44才の年齢群の発生率が78.01%と非常に高いことである。これは日に一回はかならず外で食事をとるこれらの年齢群の人々の不健全な食生活状態によるものであるが、この場合汚れた食べ物や飲み水が腸チフス流行の原因となっている。環境衛生の向上とともに、腸チフスの発

生がさらに低下するだろうと期待される。(付録表VI, 1965年度マレーシアにおける腸チフス発生件数参照)

(j) 精神衛生

らい病の場合と同様、精神衛生の場合も精神病院内に於ける治療よりも隔離されていない精神病患者の治療に重点が置かれるようになった。現在西部マレーシアには精神病院が2カ所あり、その収容可能ベッド数は6,300ベッドである。その他に多くの専門医師を有した精神科病棟が大きな病院に設立されるようになって社会における精神衛生事業はさらに進展中である。

IX 栄養

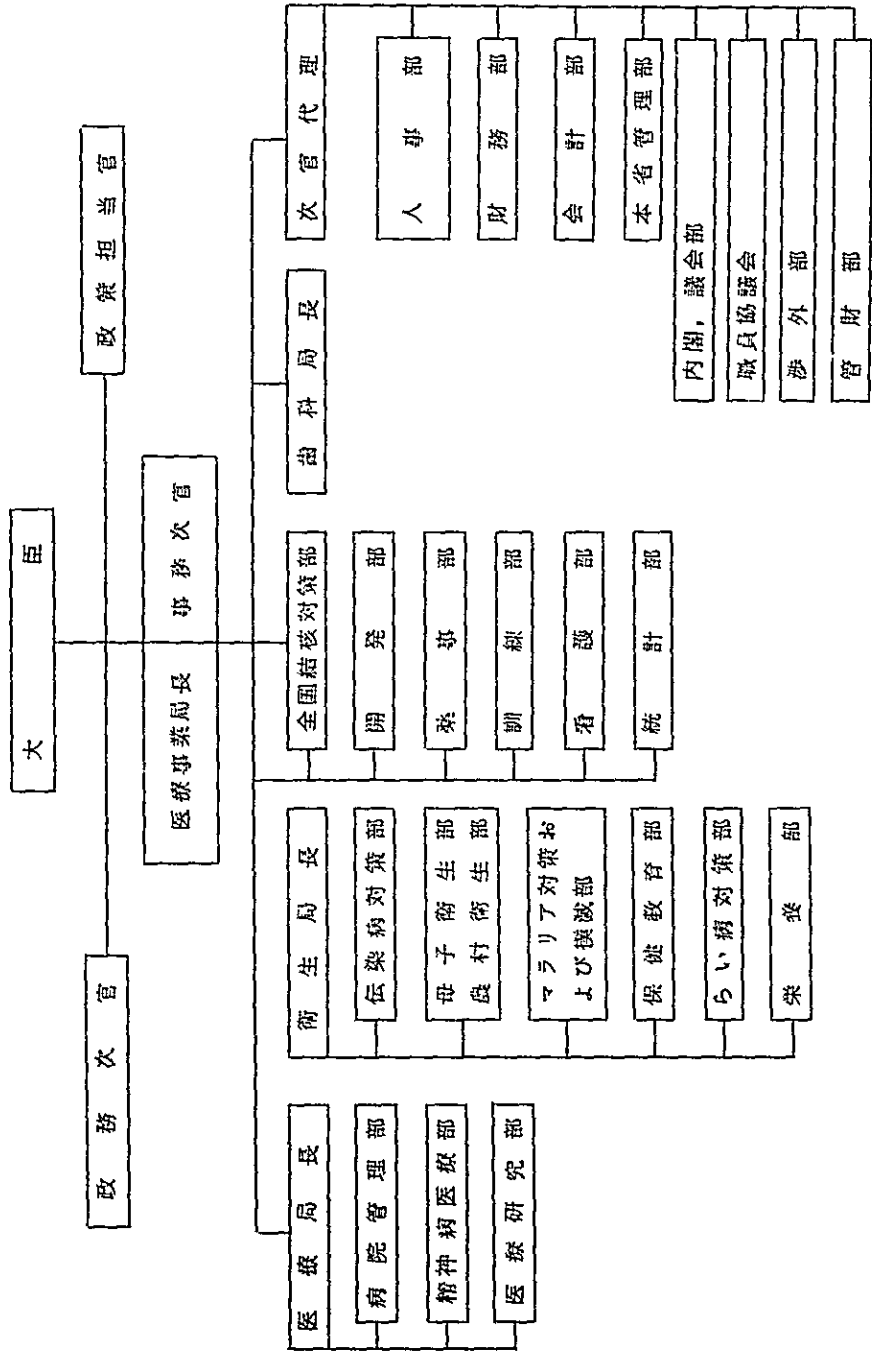
農村地域の食糧に含まれる栄養素分析を主な仕事としている医療研究所の栄養部(The Nutrition Division of the Institute for Medical Research)では同時にマレーシアに豊富にあり安価な干魚に含まれているたんぱく質やマレーシア産に含まれている栄養素の研究も行っている。

U.N.I.C.E.F(国連国際児童緊急基金)から寄贈された脱脂ミルクによる補給計画が農村保健事業(The Rural Health Service)を通じて押し進められている。教育省(The Ministry of Education)も児童福祉評議会(The Child Welfare Council)と共同で農村地域の栄養向上対策と取組んでいる。又、保健省(The Ministry of Rural Development)、農業省(The Ministry of Agriculture)やその他の関係部局および協力団体と共同で栄養開発共同計画(A Joint Nutrition Pilot Scheme)を行うことを検討中で、ネグリセンピランのレンボウ地域で実施される予定である。

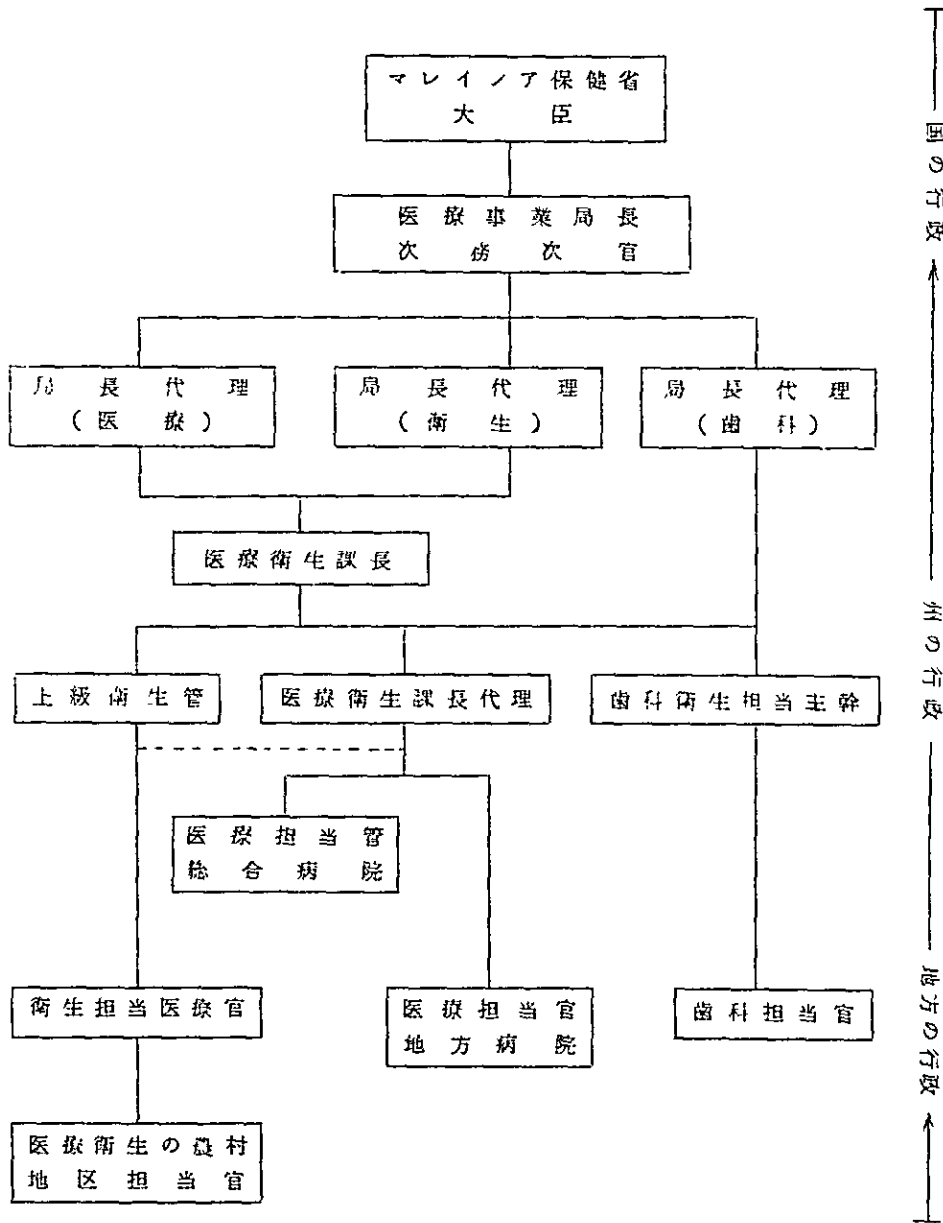
X 結 び

マレーシア政府は多くの公衆衛生事業実施やそのための要員訓練に対して各分野にわたって数多くの技術的援助を与えて下さった顧問の方、機材施設やスカラシップ等の多大な便宜を提供して下さいましたW.H.O(世界保健機関)やU.N.I.C.E.F(国連国際児童緊急基金)、および友好国に心から感謝の意を表明する次第であります。

付録 I 保健省行政機構図



付録Ⅱ 州行政機構図



付録III 要員訓練計画(1961年~1965年)地方の訓練学校およびセンター

訓練学校およびセンターの種類	学校センター数	定員	期間	1961~1965年間の集積	1966年度訓練者	注
マレーシア大学医学部	1	100-120	6年		274	1963年設立
看護学校	3	300	40ヶ月	107(男) 691(女)	168(男) 691(女)	1947年ベナン州設立, 1959年クアララムプール設立, 1960年パル設立
歯科看護学校	1	40	24"	147*	115	西部マレーシア以外から33人参加
歯科技術者養成学校	1	15	24"	30*	31	西部マレーシア以外から13人参加
準看護生センター	16	560	24"	2285	399	
助産婦養成センター	14	350	24"	1577	315	
看護婦, 助産婦養成センター	4	188	12"	442	176	94人の班を年間2班受入れ
公衆衛生検査官訓練学校	1	24	1学年	90	7	1959年設立
公衆衛生官養成学校	1	24	1"	65	27	1954年設立
マラリア検査官訓練学校	1	60	12週間	89	19	1961年設立
診療班養成学校	1	60	36ヶ月	84	46	1959年設立
放射線学校	1	15	24"	25	30	1963年設立
農林衛生担当官訓練学校	1	20	36"	75	13	1961年設立
農林衛生担当官訓練学校	2	30 120	4週間 16週間	85 220	25 33	1956年シムラ設立, 1966年レンバウ設立, 年間監督官40人, 助手60人の班を2班受入れ
結核対策訓練センター	1	結核予防(監督官)48 結核予防(補助員)168 研究員10 X線技師60	4" 8" 6ヶ月 4"	437 649 25 99	26 70 - -	1961年設立 1961年設立 1963年設立 1963年設立

資料は要員訓練センター, 学校の年間調査による



付録Ⅳ 1965年度マレーシアにおけるノイテリア発生件数

月	性		民族				場所		年 齢												診 断			発病前 免疫者数				
	M	F	マレーシア(M)	中国(C)	インド(I)	その他(O)	都 市	村 落	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11-14	15-44	45以上	臨 牀	換 査		免 疫 者	非 免 疫 者		
																							陽	陰				
1月	73	40	23	77	12	1	72	41	3	8	16	17	15	9	13	5	8	2	6	4	-	4	109	-	-	113		
2月	49	25	14	48	11	1	50	24	5	4	18	10	8	5	4	3	2	-	-	-	-	4	70	-	-	74		
3月	49	48	25	57	14	1	52	45	5	8	13	19	7	7	3	10	4	1	6	5	-	4	93	-	-	97		
4月	60	68	29	86	12	1	80	48	-	8	14	14	19	17	6	13	7	5	3	9	10	1	118	-	-	128		
5月	103	82	46	114	24	1	127	58	4	14	17	22	28	22	19	13	12	11	4	3	6	10	-	19	166	-	185	
6月	77	67	41	78	24	1	88	56	1	8	17	22	22	15	13	14	4	6	4	7	6	1	14	130	-	-	144	
7月	79	55	48	74	12	-	73	61	7	8	19	16	10	11	5	12	4	7	4	5	15	-	1	133	-	1	133	
8月	72	66	33	81	24	-	82	56	-	6	10	23	22	12	14	5	9	7	6	2	14	8	-	10	123	5	-	138
9月	65	81	38	90	16	2	86	60	1	6	10	26	13	15	12	13	8	11	6	3	10	12	-	7	137	2	-	146
10月	60	65	37	73	15	-	81	44	-	8	19	18	15	11	18	7	8	3	6	-	6	5	1	14	96	15	-	125
11月	48	52	32	55	12	1	65	35	1	4	7	14	13	8	7	3	7	4	3	5	16	-	3	85	12	-	100	
12月	61	40	27	60	14	-	67	34	2	8	18	14	14	10	5	2	2	1	-	8	10	2	5	82	14	-	101	
合計	796	689	393	893	190	9	923	562	29	90	178	215	186	142	131	94	87	65	48	28	82	105	5	95	1342	48	1	1485

資料はノイテリア調査報告による。

1966年7月13日現在

行録V 1965年度マレイシアにおける民族、性、年齢および場所別ポリオの発生件数

民族	性別	年齢												群			診断			場所					
		年												麻 ひ 性	非 麻 ひ 性	臨 床 究	研	都	市	村					
		0-5	5-11	11-14	14-15	15-18	18-20	20-23	23-25	25-27	27-32	32-37	37-40								40-45	45-49	49-54	54以上	
中国人	男	141	6	20	37	32	21	4	8	5	1	1	-	-	-	-	-	6	-	131	10	119	22	108	33
	女	73	3	9	18	15	9	7	2	2	1	3	-	1	1	-	-	-	-	67	6	64	9	46	27
マレー人	男	44	1	2	17	15	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	3	29	15	20	24
	女	30	4	2	9	5	4	1	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	28	2	25	5	15	15
インド人	男	58	2	12	23	6	8	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52	6	55	3	35	23
	女	50	2	5	18	10	6	3	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	49	1	43	7	26	24
その他	男	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	2	-
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-

資料はポリオ調査報告による

付録VI 1965年度マレイシアにおける腸チフス発生件数

月	性		民族			場所		年 齢										診 断			発病前 免疫者数							
	M	F	M	C	I	O	U	R	0-5	5-11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11-14	15-44	45以上	臨 床	研 究		免 疫	非 免 疫
																									陽	陰		
1月	36	18	36	11	7	-	25	29	-	-	1	1	4	1	3	1	3	-	2	2	10	28	1	54	-	-	-	54
2月	47	45	73	10	9	-	28	64	-	-	2	2	-	2	5	4	4	1	3	3	28	44	1	92	-	-	-	92
3月	89	71	122	24	14	-	59	101	-	-	1	3	2	8	4	8	5	6	12	6	37	68	6	160	-	-	-	160
4月	66	54	76	27	17	-	37	83	-	-	-	3	3	2	1	3	1	3	1	5	21	71	10	120	-	-	-	120
5月	72	54	74	33	18	1	47	79	1	-	1	3	3	3	3	1	3	3	8	3	22	75	3	126	-	-	-	126
6月	47	35	44	21	15	-	29	51	-	1	-	-	-	-	2	1	3	2	9	2	9	50	2	79	1	-	-	80
7月	60	41	64	21	16	-	34	67	1	-	2	2	1	3	1	3	1	4	2	5	12	59	9	11	90	-	-	101
8月	65	40	66	24	13	2	35	70	-	-	-	3	1	2	3	5	3	2	6	2	19	54	7	22	82	1	-	105
9月	79	54	78	29	24	2	58	75	-	-	1	3	1	4	3	5	10	4	5	10	22	75	5	27	106	-	-	133
10月	50	36	58	18	10	-	34	52	-	1	2	2	-	1	-	3	1	3	1	3	10	56	7	9	76	1	-	86
11月	52	32	57	10	17	-	26	58	-	-	-	1	1	-	2	3	2	2	5	2	15	46	8	9	75	-	-	84
12月	44	29	51	13	9	-	30	43	-	-	-	-	4	-	-	4	2	5	1	13	39	5	6	67	-	-	-	73
合計	707	507	799	241	169	5	442	772	1	2	1	6	14	22	23	26	35	37	42	58	218	665	64	715	497	2	-	1214

資料は腸チフス調査報告による。

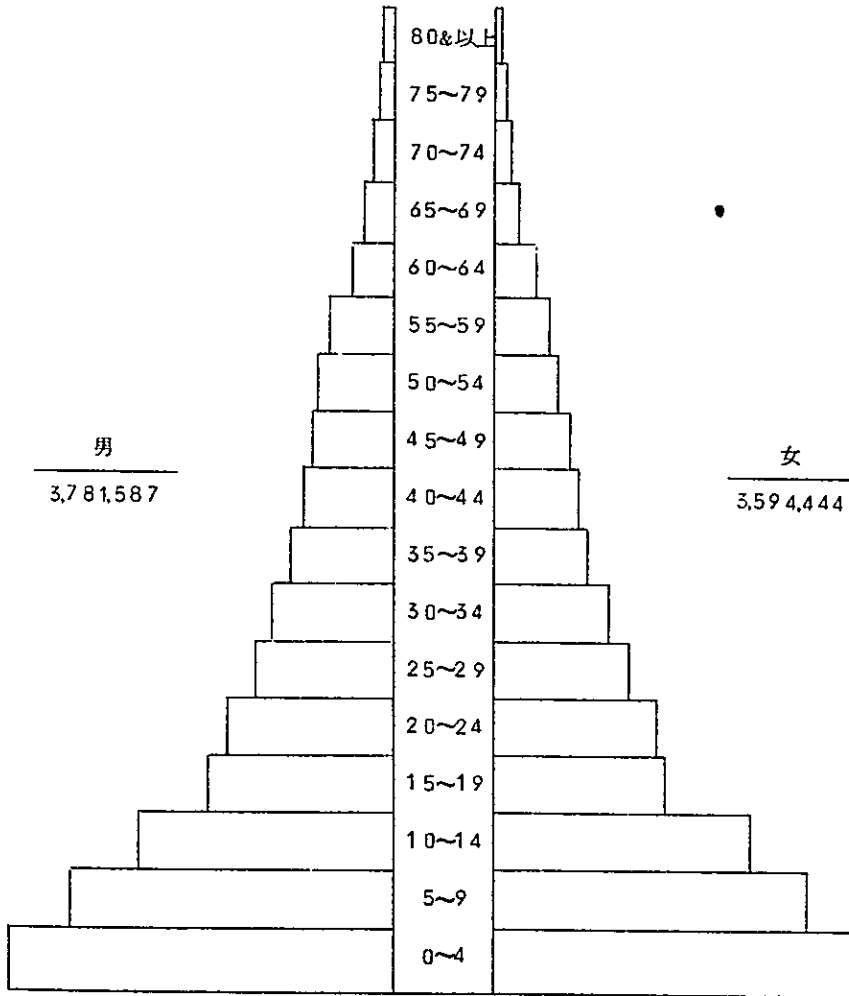
1966年7月25日現在

西部マレーシア保健統計

マレーシア保健省  
医療記録衛生統計部  
上級医療記録官編集作成

1966年10月

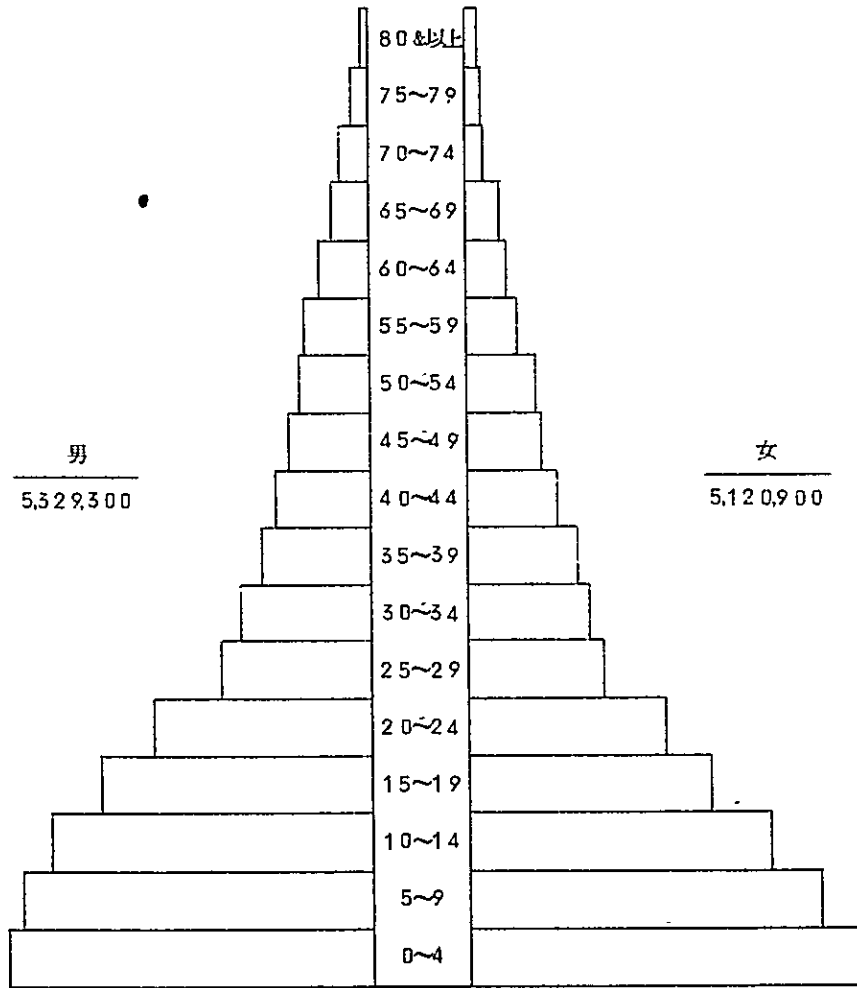
人口ピラミッド (1962年)



1962年中期推定人口

7,376,031

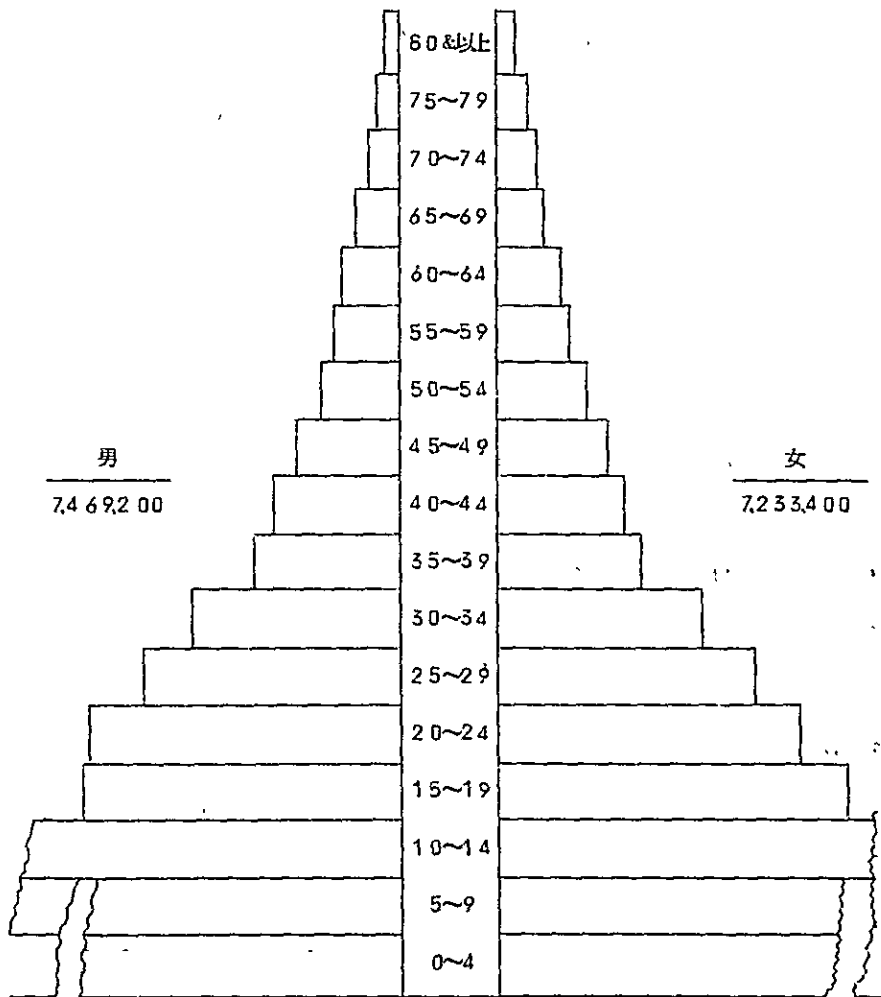
人口ピラミッド (1972年)



1972年予想人口 (中期予想率)

10,450,200

人口ピラミッド (1982年)



1982年予想人口 (中期予想率)

14,702,600

西部マレーシア人口

年 度	中 推 期 人 定 口	民 族				ベルリス	ケ ダ
		マレイ人	中 国 人	イ ン ド 人	そ の 他		
1956	6,251,649	3,048,899	2,366,656	740,436	95,658	87,533	702,629
1957 (C)	6,278,763	3,126,706	2,332,936	706,907	112,214	90,866	701,643
1958	6,515,385	3,241,766	2,415,378	737,489	120,752	93,550	723,911
1959	6,697,827	3,345,491	2,480,049	751,491	120,796	96,123	741,602
1960	6,909,009	3,460,956	2,552,276	772,880	122,897	98,761	761,999
1961	7,136,804	3,576,889	2,633,513	796,880	129,519	101,357	783,993
1962	7,376,031	3,698,752	2,718,628	818,982	139,669	104,211	807,394
1963	7,604,454	3,810,388	2,802,816	843,257	147,993	106,980	830,235
1964	7,810,205	3,912,895	2,877,986	869,237	150,087	109,102	849,940
1965	8,035,530	4,027,963	2,953,641	896,084	157,042	111,864	873,505
1966							
1967							
1968							
1969							
1970							

(C) = 国勢調査年次



(1956年~1965年)

州 別 分 類								
ベナン	ベラク	セラ ン ゴ ー ル	セ ン ビ ラ ン	マ ラ ッ カ	ジ ョ ー ル	バ ハ ン	ト レ ガ ン ヌ ー	ケ ラ ン タ ン
558,691	1,224,320	942,554	358,862	312,695	965,139	303,159	269,725	526,342
572,132	1,221,390	1,012,891	364,331	291,246	927,565	312,949	278,165	505,585
591,781	1,267,966	1,052,658	380,482	303,970	968,072	323,672	287,322	522,001
606,441	1,304,013	1,085,574	393,421	312,521	991,955	332,637	296,989	536,551
623,949	1,344,411	1,119,673	407,809	323,348	1,026,101	434,015	306,942	553,001
642,221	1,384,321	1,159,914	422,694	335,127	1,064,814	354,316	317,049	570,998
661,631	1,427,968	1,200,898	438,521	348,327	1,105,727	365,636	327,199	588,519
680,865	1,470,478	1,240,884	452,979	361,152	1,144,731	374,756	336,764	604,630
696,994	1,508,014	1,276,198	466,295	372,148	1,179,175	387,368	346,046	618,925
714,104	1,547,610	1,316,496	480,184	383,629	1,215,778	399,183	356,462	636,715

資料提供は統計部

西部マレーシア出生数

年 度	登録出生総数	民 族 別 出 生 率					全民族	ベルリス	ケ ダ	ベ ナ ン
		マレイ 人	中国人	インド 人	その他					
1956	284,673	49.3	40.9	46.0	36.7	45.5	3,527	30,869	22,994	
1957	289,905	48.1	43.3	49.7	30.5	46.2	3,766	31,173	22,629	
1958	281,594	46.0	39.4	45.5	29.9	43.2	3,621	24,716	23,713	
1959	282,435	44.5	38.5	45.6	30.9	42.2	3,816	26,830	23,126	
1960	282,755	43.3	37.5	43.4	30.3	40.9	3,573	28,986	23,881	
1961	299,030	45.0	37.8	43.6	29.4	41.9	3,871	30,881	24,578	
1962	297,613	42.9	37.3	41.5	26.2	40.3	3,712	31,137	24,252	
1963	299,632	42.4	35.8	40.0	26.2	39.4	3,843	34,051	24,633	
1964	305,679	42.6	35.2	39.3	23.5	39.1	3,756	32,501	23,884	
1965										
1966										
1967										
1968										
1969										
1970										

(1956年～1965年)

州 別 出 生 数							
ベラク	セラ ン ゴ ール	セ ビ ラ ン	マ ラ ッ カ	ジ ホ ー ル	バ ハ ン	ト レ ガ ン ヌ	ケ ラ ン タ
54,282	43,690	17,944	14,681	45,261	13,739	14,278	21,408
57,305	46,886	19,319	15,340	47,524	13,420	11,583	20,960
55,730	45,385	18,241	14,670	45,184	13,526	13,739	23,069
54,540	46,366	18,612	14,484	45,744	13,327	13,846	21,744
51,003	45,217	18,247	15,079	47,431	14,243	13,184	21,911
55,745	49,075	18,326	14,914	47,009	14,722	14,793	25,116
56,148	48,494	19,144	15,551	46,971	14,830	13,706	23,668
55,570	47,989	18,225	15,085	46,016	14,799	14,676	24,741
55,601	49,595	18,413	15,420	48,036	16,690	15,908	25,875

資料提供 (1) 出生・死亡登録本署

(2) 統計部

西部マレーシア死亡数

年 度	死亡登録総数	民 族 別 死 亡 数					全民族	ペルリス	ケ ダ	ベ ナ ン
		マレイ人	中国人	インド人	その他					
1956	70,445	142	83	94	76	113	1,053	9,162	6,228	
1957	78,116	149	98	111	67	124	1,235	9,823	6,759	
1958	71,602	135	83	98	49	110	1,231	7,608	6,356	
1959	65,262	116	78	90	46	97	1,138	7,032	5,690	
1960	65,636	112	76	87	48	95	1,130	8,640	5,980	
1961	65,997	111	72	84	45	92	1,107	8,030	5,637	
1962	68,769	110	74	88	43	94	1,066	8,808	5,918	
1963	68,028	106	71	82	44	89	917	8,936	5,643	
1964	62,907	92	67	80	39	81	909	7,641	5,657	
1965										
1966										
1967										
1968										
1969										
1970										

(1956年～1965年)

州 別 死 亡 数							
バラク	セ ラ ン ゴ ール	セ ビ ラ ン	マ ラ ッカ	ジ ホ ー ル	バ ハ ン	ト レ ガ ン ヌ ー	ケ ラ ン タ
13,779	8,501	3,650	3,429	9546	3,700	3,960	7,437
15,876	10,066	4,436	3,930	1,0375	3,935	4,012	7,669
14,584	9,114	4,051	3,361	9502	3,871	4,277	7,647
13,140	8,686	3,722	3,156	9608	3,365	3,852	5,873
12,183	9,059	3,647	3,216	9182	3,231	4,055	5,313
12,679	8,744	3,503	3,081	8459	3,534	5,054	7,169
12,824	9,129	3,853	3,350	8810	3,427	4,245	7,339
12,686	8,849	3,648	3,231	8639	3,565	4,397	7,517
11,935	8,584	3,241	2,882	8028	3,210	4,245	6,575

資料提供 (1) 出生・死亡登録本署  
(2) 統計部

西部マレーシア幼児死亡数と

年 度	幼児死亡総数	民族別幼児死亡率					ベルリス	ケダダ	ベナン
		マレイ人	中国人	インド人	その他	全民族			
1956	21,419	95	47	72	29	75	76	86	71
1957	21,885	96	47	76	34	75	86	79	67
1958	22,408	101	49	74	37	79	97	95	68
1959	18,636	84	41	63	25	66	76	71	52
1960	19,471	87	42	65	37	69	82	87	58
1961	17,859	78	34	54	31	60	75	75	46
1962	17,586	75	36	57	29	59	71	75	49
1963	17,001	72	34	53	37	57	51	68	42
1964	14,803	59	32	51	23	48	35	53	38
1965									
1966									
1967									
1968									
1969									
1970									

死亡率 (1956年~1965年)

州 別 幼 児 死 亡 率							
ベラク	セレン ゴール	セビ ラン	マラッカ	ジ ホー ル	パハン	トレガン ヌ	ケラン タ ン
74	60	67	77	78	82	93	83
78	66	70	73	73	76	114	82
83	63	71	81	79	84	98	90
67	54	59	68	73	66	89	69
69	58	60	67	68	69	98	68
55	47	49	58	56	60	92	83
57	46	58	56	50	55	90	83
55	45	49	54	50	52	90	85
48	40	43	49	43	43	75	71

資料提供 (1) 出生・死亡登録本署  
(2) 統計部

幼児死亡率および母親死

州 地域	ベルリス	ケダ	ベナン	ベラク	セレンゴール
地域	ベルリス	コタスター	ジョージタウン	ラールマタン	クアララムアール
I. M. R.	3541	54.13	31.90	5276	3963
M. M. R.	373	3.02	0.50	2.25	0.61
地域		クバンバス	ベナン・ルウラル	クリアン	ウルランガー
I. M. R.		44.59	34.88	67.44	2791
M. M. R.		3.24	2.20	3.22	1.62
地域		パダンテラブ	北部ベナン	セラマ	ウルセラランガー
I. M. R.		52.57	40.28	61.14	3754
M. M. R.		2.50	1.94	3.22	1.16
地域		ロンカウイ	中央ベナン	上ベラク	ケラン
I. M. R.		46.88	47.32	64.20	46.27
M. M. R.		1.30	2.38	6.82	1.19
地域		イエーン	南部ベナン	クアラカンガサル	クアラケランガ
I. M. R.		59.87	42.76	45.85	35.56
M. M. R.		3.57	0.89	1.03	1.22
地域		クアラムウダア		キンタ	クアラセランゴール
I. M. R.		51.88		40.47	43.73
M. M. R.		1.89		0.97	2.34
地域		パリンシイク		デインヂン	
I. M. R.		60.40		41.09	
M. M. R.		6.03		1.76	
地域		クェリム		下ベラク	
I. M. R.		51.67		47.02	
M. M. R.		2.32		2.02	
地域		バンダバル		バトウパダン	
I. M. R.		46.49		42.13	
M. M. R.		2.63		1.70	
1964 I. M. R.	35.41	52.95	37.51	47.77	40.35
1964 M. M. R.	3.73	3.14	1.34	1.87	1.11

I. M. R. = 幼児死亡率

M. M. R. = 母子死亡率

資料提供



亡率の州別・地域別分類

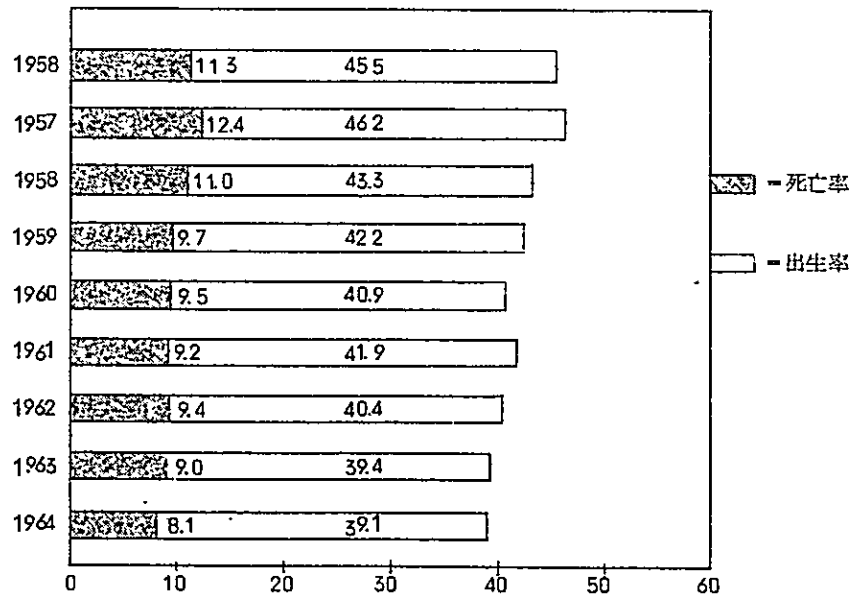
センビラン	マラッカ	ジョホール	パハン	トレガヌ	ケランタン
セレンバン 4 0.41 0.93	中央マラッカ 5 2.49 0.42	ジョホールバル 5 0.79 1.48	クアラリビス 4 9.35 3.80	クアラトレガヌ 7 0.58 4.87	コタバル 5 0.32 2.26
ジェレブ 3 7.29 -	ジャシン 4 2.62 0.73	コタティンギ 5 5.03 1.68	ロウフ 3 7.76 6.29	U.トレガヌ 6 9.14 3.10	トウンバ 8 5.01 3.20
ポートデクソン 3 8.92 0.95	アローシャジャ 4 5.34 0.61	ボンティアン 3 6.96 2.31	ベントン 3 5.01 1.52	マラン 7 7.46 1.38	ウルケランタン 1 0.99 5.99
タンビン 4 2.64 2.92		バトウパハ 3 5.53 2.18	テイメロー 4 3.33 3.87	ベスウ 8 6.46 3.94	マチャ 6 3.92 3.36
レンバウ 4 1.43 0.83		クルアン 4 6.64 0.58	カメロン高地 3 5.96 2.25	ドンガン 7 9.04 6.38	バシフレマス 7 2.63 4.33
クアラビラ 5 1.50 1.93		メルシグ 5 4.75 2.77	クアタン 4 1.27 3.85	ケママン 7 0.07 2.87	バシールビユテ 9 4.59 3.56
		ムウアベ 3 9.95 0.22	カン 5 0.20 2.83		パコック 6 9.34 4.05
		セガマ 4 2.08 2.65			
		タンカ 4 7.85 1.23			
4 3.12 1.30	4 9.22 0.52	4 3.43 1.46	4 3.32 3.65	7 4.87 4.40	7 1.23 3.48

は統計部

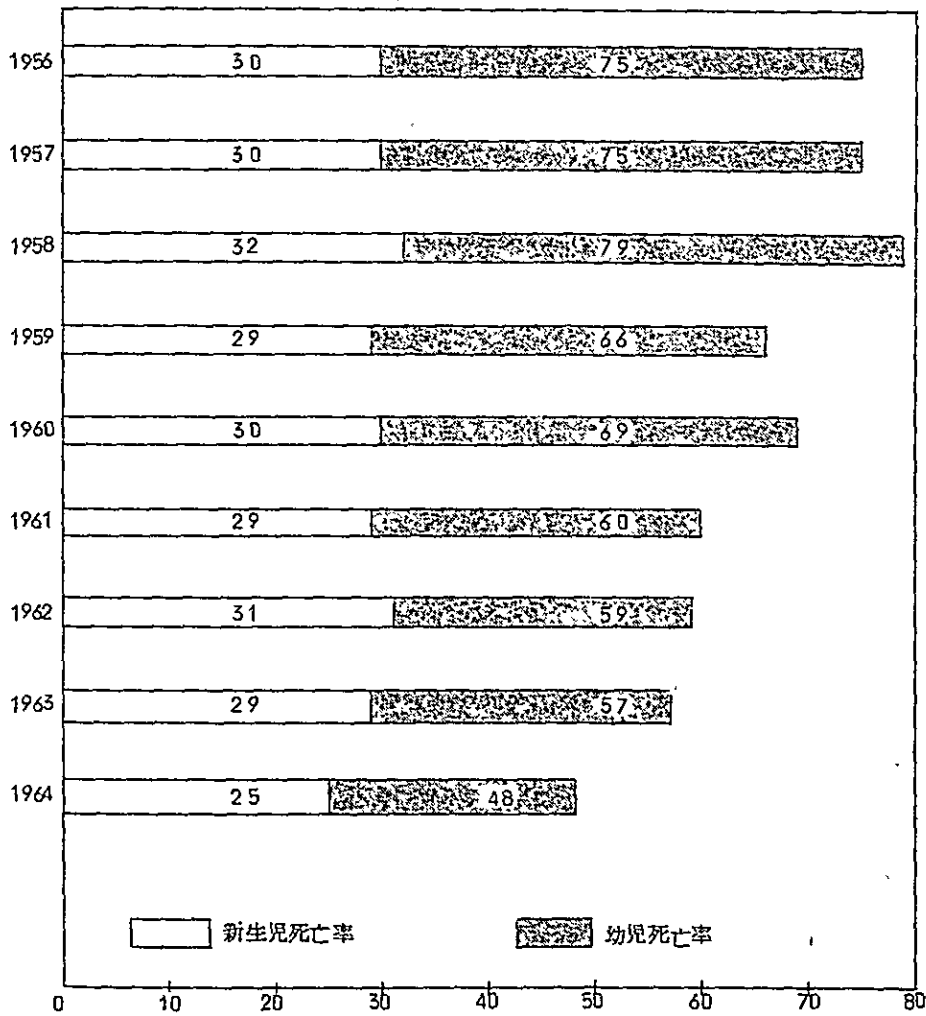
人口動態統計率

率 \ 年度	1956	1957	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965
出生率	45.5	46.2	43.3	42.2	40.9	41.9	40.4	39.4	39.1	
死亡率	11.3	12.4	11.0	9.7	9.5	9.2	9.4	9.0	8.1	
新生児死亡率 (対出生1000人)	3.0	3.0	3.2	2.9	3.0	2.9	3.1	2.9	2.5	
幼児死亡率 (対出生1000人)	7.5	7.5	7.9	6.6	6.9	6.0	5.9	5.7	4.8	
児童死亡率	N.A.	11	9	8	8	8	8	7	6	
死産率 (対出生1000人)	N.A.	N.A.	N.A.	2.4	2.2	2.1	2.3	2.2	2.2	
母親死亡率 (対出生1000人)	4.0	3.2	2.8	2.1	2.4	2.0	2.3	2.2	2.1	
人口自然増加率	34.3	33.7	32.3	32.4	31.4	32.7	31.0	30.5	31.1	

出生及び死亡率 (1956年~1964年)



幼児死亡率および新生児死亡率(1956年~1965年)



国立病院および施設のベッド

年 度	病院および施設数					付				
	総 合 病 院	地 方 病 院	精 神 病 施 設	ら い 病 施 設	合 計	ベ ッ ト 総 数	内 科 一 般	小 児 科	皮 膚 科	伝 染 病 科
1956	10	50	2	3	65	20,288	7622*	—*	—	336
1957	10	50	2	3	65	20,337	5676*	—*	—	275
1958	10	50	2	3	65	20,345	5456*	—*	—	252
1959	10	50	2	3	65	20,556	5562*	—*	—	243
1960	10	50	2	3	65	21,102	5606*	—*	—	347
1961	10	50	2	3	65	21,278	5522*	—*	—	354
1962	10	50	2	3	65	21,747	5321*	—*	—	261
1963	10	50	2	3	65	25,191	4530	1009	67	353
1964	10	50	2	3	65	25,575	4458	1000	44	357
1965	10	50	2	3	65	25,888	4508	1039	51	353
1966										
1967										
1968										
1969										
1970										

ト総数 (1956年~1965年)

設 べ ッ ト 内 訳											
結核および肺病	外科一般	整形外科	耳鼻咽喉科	神経外科	眼科	放射線治療科	齒科	産婦人科	精神科	らい病	非分類
3,179	—*	—	—	—	—	—	—	1,304	4,428	3,419	—
3,193	1,983	—	—	—	—	—	—	1,375	4,418	3,417	—
3,223	2,146	—	—	—	—	—	—	1,423	4,419	3,423	—
3,336	2,201	—	—	—	—	—	—	1,422	4,358	3,434	—
3,396	2,454	—	—	—	—	—	—	1,554	4,350	3,395	—
3,422	2,506	—	—	—	—	—	—	1,621	4,381	3,472	—
3,450	2,796	—	—	—	—	—	—	1,783	4,660	3,476	—
3,526	2,241	363	39	30	285	—	8	2,084	6,350	3,299	997
3,611	2,335	412	35	26	270	43	7	2,183	6,340	3,993	455
3,671	2,370	386	108	34	282	51	10	2,281	6,346	4,005	393

資料提供 (1) 入院調査

(2) 病院ベッド季刊調査

州の国立病院の科別

州	科	付 設 べ							
		内 科 一 般	小 児 科	皮 膚 科	伝 染 病 科	結 核 お よ び 肺 病	外 科 一 般	整 形 外 科	耳 鼻 咽 喉 科
ベ	ル	151	30	—	16	60	—	—	—
ケ	ダ	348	85	—	4	291	176	—	69
ベ	ナ	414	111	27	101	671	306	—	18
ベ	ラ	884	274	—	50	604	487	—	—
セ	ラン	630	166	24	62	370	228	305	21
ネ	グリ	437	75	—	19	419	129	24	—
マ	ラ	192	35	—	16	157	218	34	—
ジ	ョ	714	152	—	59	376	436	—	—
バ	ハ	375	85	—	26	234	188	23	—
ト	レ	174	20	—	—	142	94	—	—
ケ	ラ	189	6	—	—	247	108	—	—
精	神	—	—	—	—	—	—	—	—
ら	い	—	—	—	—	—	—	—	—
ベ	ッ	4,503	1,039	51	353	3,671	2,370	386	108
人口1000に	対する	0.56	0.13	0.01	0.04	0.46	0.29	0.05	0.01
ベ	ッ								
ド	比								
率									

ベッド数 (1965年)

ベッド科別分類									人口1000人に 対するベッド比率
神 経 科	眼 科	放射 線 治療 科	齒 科	産 婦 人 科	精 神 病 科	ら い 病 科	非 分 類	合 計	
—	—	—	—	36	6	—	—	299	2.67
—	42	—	—	171	18	—	—	1,204	1.38
—	30	—	—	212	52	—	81	2,023	2.87
—	70	—	7	444	40	—	—	2,860	1.85
34	47	51	3	415	23	—	191	2,570	1.15
—	21	—	—	185	18	—	72	1,399	2.91
—	20	—	—	176	10	—	—	958	2.50
—	26	—	—	415	25	—	31	2,234	1.84
—	—	—	—	109	8	—	—	1,048	2.63
—	—	—	—	62	6	—	—	498	1.40
—	26	—	—	56	38	70	—	740	1.16
—	—	—	—	—	6,102	—	18	6,102	0.76
—	—	—	—	—	—	3,935	—	3,935	0.49
34	282	51	10	2,281	6,346	4,005	393	25,888	3.22
0.00	0.04	0.01	0.00	0.26	0.79	0.50	0.05	3.22	

資料提供は病院ベッド季刊調査

国立病院入院数，州；民

州 および 施設	1964年 入院数						
	民族別分類					性，年	
	マ レ イ 人	中 国 人	イ ン ド 人	そ の 他	合 計	男	女
ペ ル リ ス	5,070	1,677	478	217	7,442	3,151	2,934
タ            ゲ	14,294	12,447	8,541	1,257	36,539	13,359	15,971
ベ        ナ        ン	7,409	30,341	12,640	960	51,350	16,664	21,794
ベ        ラ        ク	17,027	33,496	22,324	1,202	74,049	27,850	35,721
セ ラ ン ゴ ー ル	14,413	34,323	24,384	1,598	74,718	25,186	36,773
ネ グ リ セ ン ビ ラ ン	9,882	14,582	12,832	226	37,522	13,169	18,194
マ        ラ        ッ        カ	4,456	9,136	2,934	322	16,848	4,790	9,905
ジ ョ        ホ ー ル	17,797	28,898	10,898	1,139	58,732	19,737	29,511
バ        ハ        ン	7,684	10,652	4,522	148	23,006	8,914	10,160
ト レ ガ ン ヌ ー	9,206	2,082	592	26	11,906	5,688	4,140
ケ ラ ン タ ン	8,848	1,779	597	116	11,340	5,360	4,502
小            計	116,086	179,413	100,742	7,211	403,452	143,868	189,605
S.プロらい病院	105	319	91	20	535	371	103
P.ジェレジェクらい病院	9	18	2	-	29	22	6
タンボアらい病院	11	30	5	2	48	41	7
トレガンヌー中央精神病院	718	1,059	476	7	2,260	1,430	830
タンボア精神病院	692	786	202	6	1,686	1,112	574
クアララムアール結核診療所	183	680	240	11	1,114	830	279
小            計	1,718	2,892	1,016	46	5,672	3,806	1,799
総            計	117,804	182,305	101,758	7,257	409,124	147,674	191,404



族，性，年齢別分類

1965年入院数										
令別分類		民族別分類					性，年齢別分類			
児童 (1才～ 10才)	幼児 (1才 以下)	マ レ イ 人	中 国 人	イ ン ド 人	そ の 他	合 計	男	女	児童 (1才～ 10才)	幼児 (1才 以下)
923	434	4,323	1,573	443	166	6,505	2,882	2,602	636	385
3,995	3,214	15,192	12,849	8,628	1,163	37,831	13,618	16,560	4,263	3,390
4,349	8,543	8,129	27,737	11,835	711	48,412	16,557	24,063	5,064	2,728
6,122	4,356	19,536	35,870	24,236	608	80,250	29,642	37,697	7,261	5,650
7,421	5,338	14,895	33,934	24,956	1,432	75,217	24,057	38,697	7,154	5,309
3,398	2,761	10,323	15,636	13,260	276	39,495	14,190	18,434	3,917	2,954
1,325	828	5,166	10,245	3,316	284	19,011	5,530	10,873	1,559	1,049
5,794	3,690	21,031	29,121	11,234	774	62,160	21,087	30,884	6,098	4,091
2,497	1,435	7,936	11,188	4,916	167	24,207	9,463	10,329	2,968	1,447
1,041	1,037	8,803	1,983	553	29	11,368	5,673	3,865	939	891
909	569	10,002	2,164	784	170	13,120	6,172	5,080	1,116	752
37,774	32,205	125,335	182,300	104,161	5,780	417,576	148,871	199,084	40,975	28,646
14	47	130	281	98	8	517	358	101	14	44
1	-	11	16	6	-	33	26	7	-	-
-	-	6	44	7	4	61	51	10	-	-
-	-	661	1,031	484	20	2,196	1,377	819	-	-
-	-	561	885	211	62	1,719	1,026	693	-	-
5	-	151	835	295	10	1,291	977	308	6	-
20	47	1,520	3,092	1,101	104	5,817	3,815	1,938	20	44
37,794	32,252	126,855	185,392	105,262	5,884	423,393	152,686	201,022	40,995	28,690

資料提供：入院患者月間・季間調査

国立病院外来部および診療班の州別分

州	1964				
	病院外来部		常設診療班**		巡回
	診療班数	受信者合計	診療班数	受診者合計	診療班数
ベ ル リ ス	1	79,052	6	63,697	1
ケ           ダ	5	437,754	22	253,935	16
ベ       ナ       ン	7	828,413	22	404,026	4
ベ       ラ       ク	12	1,485,179	29	310,297	22
セ ラ ン ゴ ー ル	4	981,768	31	508,788	12
ネグリ・センピラン	5	425,124	18	255,768	16
マ       ラ       ッ       カ	1	154,715	9	237,510	5
ジ       ヨ       ホ       ー       ル	9	707,898	37	381,629	37
バ       ハ       ン	6	321,557	12	86,086	18
ト レ ガ ン ヌ ー	4	245,320	11	113,599	9
ケ ラ ン タ ン	2	236,203	13	138,824	15
クアランプール結核診療所					
合           計	56	5,902,983	210	2,754,159	155

\* 監獄、訓練大学およびセンター、福祉ホームの診療班を含む。

\*\* 保健所の診療班を含む。

類と受診者総数 (1964年, 1965年)

診療班	1965					
	病院外来部*		常設診療班		巡回診療班	
受診者合計	診療班数	受診者合計	診療班数	受診者合計	診療班数	受診者合計
727	1	69,278	7	62,557	11	11,573
77,824	5	456,569	22	287,030	16	76,522
167,477	9	862,186	20	429,959	4	173,893
151,299	15	1,604,255	29	306,750	22	161,316
102,888	8	795,092	20	520,713	12	83,793
113,372	6	441,498	15	225,636	16	112,695
97,772	3	176,767	12	157,779	5	97,084
368,672	12	612,933	37	81,673	37	500,451
83,597	6	309,112	16	100,946	18	90,732
144,573	4	281,856	10	110,860	9	144,085
116,789	6	198,102	12	142,671	15	152,381
	1	145,139				
1424,990	75	5,952,787	208	2,825,288	155	1,604,525

資料提供 (1) 常設および巡回診療班年間報告  
 (2) 常設および巡回診療班年次調査

国立病院のベッド使用率, 入院日数,

総合病院および 地方病院, 施設の場所	1964年 12月									
	可能ベッド数			一日の ベッド 使用者数	使用率		全快者・ 死亡者数	入 院 日 数	1 日 の 空ベッド数	
	正	臨 時	合 計		正	臨 時 も 含 む			正	臨 時 も 含 む
ベルリス州										
(1) 地方病院 カンガール	293	6	299	190	64.85	63.55	717	8.2	103	109
ケダ州										
(1) 総合病院 アロスター	550	-	550	441	80.18	-	1364	100	109	109
(2) 地方病院 スンゲパタニ	285	-	285	280	98.25	-	960	20	5	5
(3) 地方病院 クリィム	214	-	214	172	80.37	-	470	11.3	42	42
(4) 地方病院 バリング	70	-	70	40	57.14	-	197	6.3	30	30
(5) 地方病院 ラングクワイ	85	-	85	55	64.71	-	259	6.6	30	30
合 計	1204	-	1204							
マラッカ州										
(1) 総合病院 マラッカ	737	67	804	632	85.75	78.61	1491	13.1	105	172
(2) 地方病院 アロール ・ジャ	120	-	120	111	92.50	-	7	475.1	9	9
合 計	657	67	924							

転換期間 (1964年12月, 1965年12月)

1965年 12月													
転換期間 (日)		可能ベッド数			一日の ベッド 使用者数	使用率		全 快者・ 死亡者 数	入 院 日 数	1 日 の 空 ベッド数		転換期間 (日)	
正	臨時 も含む	正	臨 時	合 計		正	臨時 も含む			正	臨時 も含む	正	臨時 も含む
45	47	299	-	299	189	6321	-	638	918	110	110	534	534
25	25	550	-	550	440	8000	-	1,378	990	110	110	247	247
02	02	285	-	285	282	9895	-	1,087	804	3	3	009	009
28	28	214	-	214	162	7570	-	443	11,34	52	52	3.64	3.64
47	47	70	-	70	35	5000	-	174	624	35	35	624	624
3.6	3.6	85	-	85	46	54.12	-	195	7.31	39	39	620	620
		1,204	-	1,204									
22	36	819	19	838	654	7985	7804	1,735	1169	165	184	295	329
39.9	39.9	120	-	120	118	9833	-	3	121,935	2	2	20.67	20.67
		939	19	958									

国立病院のベッド使用率, 入院日数,

総合病院および 地方病院, 施設の場所	1964年 12月									
	可能ベッド数			一日の ベッド 使用者数	使用率		全 快者 ・ 死亡 者数	入 院 日 数	1 日 の 空ベッド数	
	正	臨 時	合 計		正	臨 時 も 含 む			正	臨 時 も 含 む
ベナン州										
1. 総合病院 ベナン										
a) 総合病院	839	-	839	643	76.40	-	1582	126	198	198
b) 産婦人科	120	-	120	80	66.67	-	1247	20	40	40
c) 監獄の病院	12	-	12	8	66.67	-	35	7.1	4	4
2. ベラクロード病院 ベナン	77	-	77	58	75.32	-	4	4495	19	19
3. 検疫病院 プロウ ジエレジヤク	77	-	77	-	-	-	-	-	77	77
4. 結核病院 "	450	-	450	367	81.56	-	17	6692	83	83
5. 地方病院 バルクボロウ	41	-	41	23	56.10	-	48	149	18	18
6. 地方病院 ブタウオス	134	-	134	84	62.69	-	396	66	50	50
7. 地方病院 ブキト メルタジャ	153	-	153	153	100.00	-	609	78	-	-
8. 地方病院 スンゲ バカアブ	120	-	120	96	80.00	-	312	9.5	24	24
合 計	2023	-	2023							
トレガンヌー州										
1. 総合病院 クアラ トレガンヌー	277	27	304	196	70.76	64.47	486	12.5	81	81
2. 地方病院 ケメマン	100	-	100	56	56.00	-	154	11.3	44	44
3. 地方病院 ダンガン	46	-	46	27	58.70	-	188	4.5	19	19
4. 地方病院 ベスウト	46	-	46	20	43.48	-	97	6.4	26	26
合 計	469	27	496							

転換期間 (1964年12月, 1965年12月)

1965年 12月													
転換期間 (日)		可能ベッド数			一日の ベッド 使用者数	使用率		全快者・ 死亡者数	入院 日数	1日の 空ベッド数		転換期間 (日)	
正	臨時も 含む	正	臨 時	合 計		正	臨時も 含む			正	臨時も 含む	正	臨時も 含む
39	39	839	-	839	619	7378	-	1,667	1151	220	220	409	409
10	10	120	-	120	96	8000	-	768	388	24	24	097	097
35	35	12	-	12	8	6667	-	24	1033	4	4	5.17	5.17
1473	1473	77	-	77	60	77.92	-	5	37200	17	17	10540	10540
-	-	77	-	77	-	-	-	-	-	77	77	-	-
1514	1514	450	-	450	393	8733	-	49	24863	57	57	3606	3006
116	116	41	-	41	25	6098	-	57	1360	16	16	870	870
39	39	134	-	134	68	5075	-	437	482	66	66	468	468
-	-	133	-	133	149	9739	-	717	644	4	4	0.17	0.17
24	24	120	-	120	85	7083	-	285	925	35	35	381	381
		2023	-	2023									
52	69	277	29	306	230	8303	75.16	472	1511	47	76	309	499
89	89	100	-	100	46	4600	-	121	1179	54	54	1383	1383
31	31	46	-	46	34	7391	-	99	1065	12	12	376	376
83	83	46	-	46	46	10000	-	91	1567	-	-	-	-
		469		498									

国立病院のベッド使用率，入院日数，

総合病院および 地方病院，施設の場所		1964年 12月									
		可能ベッド数			一日の ベッド 使用者数	使用率		全 快者・ 死亡者 数	入 院 日 数	1 日 の 空ベッド数	
		正	臨 時	合 計		正	臨 時 も 含 む			正	臨 時 も 含 む
ベラク州											
1.	総合病院 イポー	665	45	710	639	9609	9000	1980	10	26	71
2.	地方病院 クアラカン グザール	284	10	294	227	7993	7721	486	145	57	67
3.	地方病院 タイピン	510	5	515	449	8804	8718	1202	116	61	66
4.	地方病院 バリットター	118	-	118	96	8136	-	307	97	22	22
5.	地方病院 バトウガジャ	350	-	350	256	7314	-	614	129	94	94
6.	地方病院 カンパール	100	-	100	79	7900	-	187	131	21	21
7.	地方病院 タバ	222	-	222	162	7297	-	425	118	60	60
8.	地方病院 タンマシム	103	-	103	62	6019	-	200	92	41	41
9.	地方病院 テルク アシン	254	56	290	250	10684	8621	714	109	16	40
10.	地方病院 ルムト	120	21	141	84	7000	5957	332	78	36	57
11.	地方病院 グリク	39	-	39	19	4872	-	78	76	20	20
合 計		2745	137	2882							
ネグリセレンバン州											
1.	総合病院	653	-	653	589	9020	-	1834	10	64	64
a)	監獄病院	18	-	18	-	-	-	-	-	18	18
2.	地方病院 タンビン	118	-	118	98	8305	-	325	93	20	20
3.	地方病院 クアラピラ	337	-	337	250	7418	-	474	164	87	87
4.	地方病院 ポート ディクソン	135	-	135	128	9481	-	363	109	7	7
5.	地方病院 ジェレブ	80	-	80	54	6750	-	175	96	26	26
合 計		1,341	-	1,341							



転換期間 (1964年12月, 1965年12月)

1965年 12月													
転換期間 (日)		可能ベッド数			一日の ベッド 使用者数	使用率		全快者・ 死亡者数	入院 日数	1日の 空ベッド数		転換期間 (日)	
正	臨時も 含む	正	臨 時	合 計		正	臨時も 含む			正	臨時も 含む	正	臨時も 含む
04	11	665	45	710	647	9729	9113	2167	926	18	63	026	090
36	43	284	10	294	167	5739	5544	546	925	121	131	687	744
16	17	514	5	519	450	8755	8671	1280	1090	64	69	155	167
22	22	118	-	118	87	7373	-	290	930	31	31	331	331
47	47	350	-	350	270	7714	-	602	1390	80	80	412	412
35	35	100	-	100	83	8300	-	259	993	17	17	203	203
44	44	222	-	222	158	7117	-	371	1320	64	64	535	535
61	61	104	-	104	55	5288	-	208	820	49	49	730	730
-	17	230	50	280	246	10695	8786	813	938	-16	34	-061	130
34	53	120	6	126	71	5917	5635	286	770	49	55	531	596
79	79	37	-	37	20	5405	-	79	785	17	17	667	667
		2744	116	2860									
11	11	653	-	653	447	6845	-	1800	737	206	206	340	340
-	-	18	-	18	-	-	-	-	-	18	18	-	-
19	19	158	-	158	97	6139	-	351	857	61	61	539	539
57	57	337	-	337	308	9139	-	565	1690	29	29	159	159
06	06	149	-	149	100	6711	-	321	966	49	49	473	473
46	46	84	-	84	70	8333	-	218	995	14	14	199	199
		1399	-	1399									

国立病院のベッド使用率, 入院日数,

総合病院および 地方病院, 施設の場所	1964年 12月									
	可能ベッド数			一日の ベッド 使用者数	使用率		全 快者・ 死亡者 数	入 院 日 数	1 日 の 空ベッド数	
	正	臨 時	合 計		正	臨 時 も 含 む			正	臨 時 も 含 む
セラシゴール州										
1. 総合病院 クアララム プール	937	208	1,145	991	10576	8655	3302	93	-54	154
a) 産婦人科病院 クアララムプール	210	-	210	194	9238	-	1,178	51	16	16
b) 警察病院 クアララムプール	20	-	20	3	1500	-	15	62	17	17
c) 刑務所病院 クアララムプール	25	-	25	6	2400	-	11	169	19	19
2. タイウア病院 クアララ ムプール	190	-	190	101	5316	-	11	2846	89	89
3. 地方病院 クラング	350	-	350	328	9371	-	1,302	78	22	22
4. 地方病院 カジャン	190	2	190	156	8211	8125	625	77	34	34
5. 地方病院 クアラハル	140	-	140	76	5429	-	200	118	64	64
合 計	2062	210	1,272							
結核病院 バハンロード	202	6	205	178	8812	8558	111	497		30
バナシ州										
1. 総合病院 クアンタン	278	-	278	202	7266	-	544	115	76	76
2. 地方病院 ベカン	113	10	123	51	4513	4146	138	115	62	72
3. 地方病院 クアラリビス	136	42	178	123	9044	6910	307	124	13	55
4. 地方病院 ロウブ	141	-	141	87	6170	-	310	87	54	54
5. 地方病院 ベントン	133	10	143	111	8346	7762	326	106	22	32
6. 地方病院 メンダア カブ	119	20	139	116	9748	8345	345	104	3	23
合 計	920	82	1,002							

転換期間 (1964年12月, 1965年12月)

1965年 12月													
転換期間 (日)		可能ベッド数			一日の ベッド 使用者数	使用率		全快者・ 死亡者数	入院 日数	1日の 空ベッド数		転換期間 (日)	
正	臨時も 含む	正	臨 時	合 計		正	臨時も 含む			正	臨時も 含む	正	臨時も 含む
-	14	923	168	1091	894	9686	8194	4307	643	29	197	021	142
04	04	262	26	288	213	8130	7396	1152	573	49	75	132	202
351	35.1	20	-	20	6	3000	-	8	2325	14	14	5425	5425
535	53.5	25	-	25	5	2000	-	8	1958	20	20	7750	7750
2508	2508	190	-	190	97	5105	-	6	501.17	93	93	48050	48056
05	05	350	8	353	311	8886	8687	1142	844	39	47	106	128
1.8	18	190	6	196	182	9579	9286	673	838	8	14	037	064
9.9	99	152	-	152	71	4671	-	228	965	81	81	1101	1101
		2112	208	2320									
67	84	250	-	250	201	8040	-	119	5236	249	249	1276	1276
43	43	278	-	278	176	6331	-	500	1091	102	102	632	632
139	162	113	10	123	59	5221	4797	110	1663	54	64	1522	1804
13	56	166	27	193	155	9337	8031	346	1389	11	38	099	340
54	54	141	-	141	87	6170	-	327	825	54	54	512	512
21	3	137	10	147	125	9124	8503	463	837	12	22	080	147
03	2.1	152	14	166	120	7895	7229	402	925	32	46	247	355
		987	61	1048									

国立病院のベッド使用率, 入院日数, 転

総合病院および 地方病院, 施設の場所	1964年12月									
	可能ベッド数			一日の ベッド 使用者数	使用率		全決者・ 使用者数	入 院 日 数	1日の 空ベッド数	
	正	臨 時	合 計		正	臨 時 も 含 む			正	臨 時 も 含 む
ジョホール州										
1. 総合病院, ジョホール バレー	667	26	693	707	106.00	10202	1770	124	-40	-14
2. 地方病院, ムアール	300	15	315	275	91.67	8730	794	107	25	40
3. 地方病院, クラング	259	34	293	180	69.50	6143	670	83	79	113
4. 地方病院, バトゥ, バント	207	-	207	151	72.95	-	601	78	56	56
5. 地方病院, セガマツト	210	-	210	158	75.24	-	563	87	52	52
6. 地方病院, ポンティアン	111	-	111	70	63.06	-	298	73	41	41
7. 地方病院, タングカッタ	118	-	118	72	61.02	-	155	144	46	46
8. 地方病院, コタテンギ	145	-	145	83	57.24	-	197	131	62	62
9. 地方病院, メレンング	60	-	60	26	43.33	-	99	81	34	34
合 計	2077	75	2,152							
ケランタン州										
1. 総合病院, コタバル	612	21	633	551	90.03	87.05	920	186	61	82
2. 刑務所診療所, ベンガランチエバ	17	-	17	4	23.53	-	15	83	13	13
3. T. I. C., ノソクベイ	12	-	12	-	-	-	-	-	12	12
4. 地方病院, クアラ クライ	67	-	67	64	95.52	-	133	149	3	3
合 計	703	21	729							

換回数(1969年12月, 1965年12月)

1965年12月													
転換期間 (日)		可能ベッド数			一日の ベッド 使用者数	使用率		全 快者・ 死亡者 数	人 院 日 数	1日 の 空 ベ ッ ド 数		転換期間 (日)	
正	臨時 も含む	正	臨 時	合 計		正	臨時 も含む			正	臨時 も含む	正	臨時 も含む
—	—	667	26	693	727	10900	10491	1825	1235	—	—	—	—
1	16	500	42	342	238	7933	6959	770	958	62	104	250	419
37	52	267	42	309	175	6554	5663	625	868	92	134	456	665
29	29	210	1	211	141	6714	6682	582	751	69	70	368	373
29	29	210	—	210	152	7238	—	556	847	58	58	323	323
43	43	111	—	111	76	6847	—	321	734	35	35	338	338
92	22	119	—	119	66	5546	—	188	1088	53	53	874	874
98	98	145	—	145	79	5448	—	229	1069	66	66	893	893
106	106	94	—	94	43	4574	—	106	1258	51	51	1492	1492
		2,123	111	2,234									
21	28	629	15	644	488	7758	7578	942	1606	141	156	464	513
269	269	17	—	17	7	4118	—	11	1973	10	10	2818	2818
—	—	12	—	12	—	—	—	—	—	12	12	—	—
07	07	67	—	67	35	5224	—	139	781	32	32	714	714
		725	15	740									

ゴム会社, 鉾山会社附属病院, 民間病院

州	ゴム会社および鉾山会社附属病院													
	病院数	ベッド総数	受診者推定数	入院総数	外来患者数	分娩	医師		助手		看護婦		看護婦	
							常勤	非常勤	資格者	無資格者	資格者	無資格者	資格者	無資格者
ベルリス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ケダ	12	998	67,397	19,194	106,613	963	2	10	36	16	1	—	—	1
ベナン	2	38	39,69	496	8,332	101	—	3	4	1	—	—	—	—
ベラク	21	923	59,672	16,404	88,017	1,369	—	23	27	9	—	—	—	1
セラゴール	24	1,100	82,292	20,455	305,918	2,683	1	24	55	7	1	—	—	—
N. センピラン	17	513	46,993	8,931	189,881	1,243	—	15	27	5	—	—	—	—
マラツカ	4	83	12,376	1,916	22,124	327	—	4	4	1	—	—	—	—
ノヨホール	8	284	29,470	5,914	101,962	662	—	8	21	1	1	—	—	—
バハン	5	151	16,851	3,194	123,028	334	3	2	6	11	3	—	—	6
トレガノヌー	1	75	13,315	1,931	21,004	179	2	2	5	—	1	—	—	5
ケランタン	4	76	5,841	1,525	15,623	156	—	4	7	—	—	—	—	—
合計	98	4,241	338,176	79,960	182,502	8,017	8	95	194	51	7			13

資料提供 (1) ゴム会社, 鉾山会社附属病院の半年ごとの調査

(2) 民間病院および助産所の半年ごとの調査

および助産所の州別分類(1965年)

		民間病院および助産婦																
助産婦	資格者	無資格者	病院および助産所数	ベッド総数	入院総数	外来患者数	分娩	医師		助手		看護婦		看護婦		助産婦		
								常勤	非常勤	資格者	無資格者	資格者	無資格者	資格者	無資格者	資格者	無資格者	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	—	—	2	16	97	—	96	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
—	—	—	10	204	3534	27909	1073	6	3	—	9	17	1	—	19	17	1	—
3	3	—	18	284	7192	7502	6,679	4	40	—	1	9	3	3	6	39	41	—
10	4	—	26	1098	20,446	129,150	10,464	36	29	2	11	96	16	35	90	74	5	—
4	4	—	2	35	1,771	106	1,481	1	7	—	2	—	1	—	3	5	—	—
3	—	—	3	25	839	1,587	838	6	1	—	—	—	—	—	—	7	1	—
4	1	—	9	53	1,611	3,002	1,589	2	7	—	—	1	—	—	—	11	—	—
1	2	—	1	8	176	—	175	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
2	—	—	1	4	40	—	40	1	—	—	1	—	—	—	4	—	1	—
1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
34	15	—	72	—	—	—	—	58	87	2	24	123	21	38	122	156	49	—

農村衛生事業発展状況

州	1961*			1962		
	M.C.	S.C.	Md.CI.	M.C.	S.C.	Md.CI.
ベルリス	—	—	—	—	1	12
ケダ	1	3	2	2	8	58
ベナン	—	—	—	—	—	19
ベラク	1	4	6	2	5	39
セラゴール	1	1	1	4	4	25
ネグリセンピラン	1	3	18	2	6	34
マラツカ	1	—	3	2	5	29
ジコホール	1	—	6	2	10	65
バハ	1	—	10	3	5	53
トレンガヌー	1	—	9	1	2	18
ケラント	1	—	—	3	4	21
合計	9	11	55	21	50	373

M.C. = 基幹保健所 S.C. = 準保健所 Md.CI. 助産所

\* 第1次開発計画(1956年~1960年)により基幹保健所, 8ヶ所  
資料は保健省開発部より



(1961年～1965年)

1963			1964			1965		
M.C.	S.C.	Md.CI.	M.C.	S.C.	Md.CI.	M.C.	S.C.	Md.CI.
1	4	20	1	4	20	1	4	20
3	18	63	3	18	72	3	18	86
—	3	21	1	3	29	1	4	45
5	9	51	5	13	73	6	17	75
7	10	29	7	10	40	7	13	53
2	9	39	2	9	51	2	10	53
2	6	32	2	6	35	2	8	42
4	16	73	4	16	96	4	18	100
6	14	67	6	15	83	6	16	98
3	5	23	4	5	37	4	6	39
3	8	22	3	8	26	3	8	32
36	102	440	38	107	562	39	122	643

保健所、26日助産所が建設された。

農村衛生事業および母子衛生所—受診者，

州	1961			1962		
	受診者	応診	分娩	受診者	応診	分娩
ベルリス	146,704	68,360	7,117	166,271	56,986	6,358
ケダ	22,553	15,015	1,194	22,872	9,637	4,131
ベナン	179,822	99,870	2,822	185,161	94,205	3,153
ベラク	464,416	163,587	9,686	505,855	178,650	9,950
セランゴール	275,339	116,677	4,397	299,238	138,125	5,028
ネグリセンピラン	129,366	57,555	3,811	146,718	60,784	4,327
マラツカ	253,657	89,561	1,971	285,942	96,277	2,486
ジョホール	230,070	127,942	7,791	272,961	172,538	8,832
バハン	135,009	34,325	4,033	173,649	70,776	3,589
トレガンヌー	93,101	12,182	1,493	88,666	16,111	1,384
ケラントン	77,819	57,525	3,768	91,349	67,271	4,006
合計	2,007,856	842,619	48,083	2,238,682	961,360	53,244

資料は母子衛生所および農村保健所の毎月の調査より

応診，分娩の州別分類（1961年～1965年）

1963			1964			1965		
受診者	応診	分娩	受診者	応診	分娩	受診者	応診	分娩
169,767	61,549	6,668	344,69	18,412	1,360	41,543	25,702	1,469
21,779	12,014	3,025	226,860	93,633	7,558	250,269	98,921	7,399
187,975	102,902	3,419	186,106	92,949	3,406	182,910	94,970	3,749
479,583	184,063	10,120	553,269	202,355	10,624	408,993	185,733	11,896
282,334	138,416	5,604	305,066	156,621	6,244	311,782	175,079	6,522
139,081	64,331	4,194	149,835	59,791	4,375	178,743	74,950	4,094
347,036	116,861	3,364	355,483	119,146	3,880	382,888	127,186	3,970
278,099	244,435	10,814	351,039	289,069	11,323	352,821	327,307	11,728
167,704	88,248	4,400	192,914	101,319	4,921	205,912	144,377	5,161
72,041	34,796	2,327	75,346	59,618	3,307	86,821	60,525	3,011
104,417	86,240	4,747	120,921	—	5,565	137,369	170,017	5,556
2,249,816	1,133,855	58,682	2,551,308	1,292,171	62,563	2,540,051	1,484,767	64,555

国立病院および施設に於ける出生数

州 特定項目	ベ ル リ ス	ケ ダ	ベ ナ ン	ベ ラ ク	セ ラ ン ゴ ール
出生登録総数	3,756	32,501	23,884	55,601	49,595
国立病院での出生数	680	6,043	10,860	16,197	18,711
農村保健所および母子保健所 における出生数	1,360	7,558	3,406	10,624	6,244
国立施設における出生総数	2,040	13,601	14,266	26,821	24,955
登録出生数に対する割合(%)	54.31	41.85	59.73	48.24	50.32
民間病院における出生数	—	1,075	758	1,383	4,118
民間産院における出生数	—	—	—	4,642	5,815
助産所における出生数	—	157	435	1,785	2,759
民間施設における出生総数	—	1,232	1,193	7,810	12,692
登録出生数に対する割合(%)	—	3.79	4.99	14.05	25.59
国立および民間病院における 出生総数	2,040	14,833	15,459	34,631	37,647
登録出生数に対する割合(%)	54.31	45.64	64.73	62.28	75.91

資料 (i) 統計部

(ii) 月間入院患者および農村衛生事業調査

(iii) ゴム会社附属病院および民間病院の半年ごとの調査

とその割合の州別分類(1964年)

ネグリセンブラン	マラツカ	ジョホール	パハン	トレガンヌー	ケラントン	西部マレーシア	
						合計	全出生数に対する割合(%)
18,413	15,420	48,036	16,690	15,908	25,875	305,679	
6,600	3,857	14,732	4,375	782	819	83,656	27.37
4,375	3,880	11,323	5,565	3,307	4,921	62,563	20.47
10,975	7,737	26,055	9,940	4,089	5,740	146,219	47.83
59.60	50.18	54.24	59.56	25.70	22.18	47.83	
1,223	242	647	298	159	178	10,081	3.30
1,545	—	—	—	—	—	12,002	3.93
	848	1,213	188	34	—	7,419	2.43
2,768	1,090	1,860	486	193	178	29,502	9.65
15.03	7.07	3.87	2.92	1.21	0.09	9.65	
13,743	8,827	27,915	10,426	4,282	5,918	175,721	57.49
74.64	57.24	58.11	62.47	26.92	22.87	57.49	

国立病院および施設に於ける出生数

州 特定項目	ベ ル リ ス	ケ ダ	バ ナ ン	ペ ラ ク	セ ラ ン ゴ ール
出生登録総数	3,692	32,197	23,786	53,752	50,012
国立病院での出生数	607	6,518	11,593	16,600	17,474
農村保健所および母子保健所 における出生数	1,469	7,399	3,749	11,896	6,522
国立施設における出生総数	2,076	13,917	15,342	28,496	23,996
登録出生総数に対する割合(%)	56.23	43.22	64.50	53.01	47.98
民間病院における出生数	—	963	808	1,369	4,503
民間産院における出生数	—	—	—	4,899	5,791
助産所における出生数	—	96	366	1,780	2,853
民間施設における出生総数	—	1,059	1,174	8,048	13,147
登録出生数に対する割合(%)	—	3.29	4.94	14.97	26.29
国立および民間病院における 出生総数	2,076	14,976	16,516	36,544	37,143
登録出生数に対する割合(%)	56.23	46.51	69.44	67.99	74.27

資料 (i) 統計部

(ii) 月間入院患者および農村衛生事業調査

(iii) ゴム会社附属病院および民間病院の半年ごとの調査。

とその割合の州別分類(1965年)

ネグリ セン プラン	マ ラ ン カ	ジ ヨ ホ ー ル	パ ハ ン	ト レ ガ ン ヌ ー	ケ ラ ン タ ン	西部マレーシア	
						合 計	全出生数に 対する割合(%)
17,813	15,160	46,086	14,598	13,859	23,882	294,837	
6,797	3,982	14,657	4,414	699	951	84,292	28.59
4,094	3,970	11,728	5,161	3,011	5,556	64,555	21.90
10,891	7,952	26,385	9,575	3,710	6,507	148,847	50.48
6,114	5,245	5,725	6,559	2,677	2,725	50,48	
1,243	327	662	334	179	156	10,544	3.58
1,481	—	—	—	—	—	12,171	4.13
—	838	1,589	175	40	156	7,737	2.62
2,724	1,165	2,251	509	219	0.65	30,452	10.33
1,529	768	4,88	3.49	1.58	—	10.33	
13,615	9,117	28,636	10,084	3,929	6,663	179,299	60.81
7,643	60.14	62.14	69.08	28.35	27.90	60.81	

西部マレーシアに於ける伝染病発生件数(1961年~1965年)

1961 ~ 1965

年 度	1961		1962		1963		1964		1965	
	件 数	発 生 率 (人口 10万)	件 数	発 生 率 (人口 10万)	件 数	発 生 率 (人口 10万)	件 数	発 生 率 (人口 10万)	件 数	発 生 率 (人口 10万)
伝 染 病										
コ レ ラ	—	—	—	—	153	2.01	512	6.56	1	0.01
脳 脊 髄 炎	12	0.17	9	0.12	4	0.05	4	0.05	4	0.05
水 痘	4,027	56.43	4,270	57.89	4,788	62.96	3,647	46.70	5,696	70.89
ジ フ テ リ ア	1,683	23.58	1,335	18.10	1,160	15.25	1,139	14.58	1,439	17.91
赤 痢(全種類)	3,121	43.73	2,850	38.64	2,888	37.98	2,922	37.41	2,427	30.20
腸 チ フ ス	877	12.29	942	12.77	854	11.23	874	11.19	1,216	15.13
丹 毒	—	—	—	—	1	0.01	8	0.10	2	0.02



ら	い	病	314	4.40	243	3.29	256	337	632	8.09	331	4.12
バ	ラ	チ	61	0.85	34	0.46	37	0.49	33	0.42	72	0.90
ポ	リ	オ	160	2.24	56	0.76	89	1.17	175	2.24	399	4.97
結	核	(初感染)	9,889	138.56	10,322	139.94	10,706	140.79	11,463	146.77	11,089	138.10
小	児	熱					29	0.38	145	1.86	150	1.87
恙	虫	病	111	1.56	70	0.95	52	0.68	111	1.42	114	1.42
都	市	発	16	0.22	12	0.16	-22	0.29	20	0.26	29	0.36
イ	ン	ト	3,523	49.36	2,043	27.70	1,455	19.13	825	10.56	560	6.97

国立およびゴム会社附属病院で

州 年度	ベルリス		ケダ		ベナン		ベラク		セランゴール	
	件数	死亡数	件数	死亡数	件数	死亡数	件数	死亡数	件数	死亡数
1956	243	4	1,456	17	334	12	1,277	12	854	3
1957	164	4	1,266	14	381	9	1,099	20	585	3
1958	153	6	1,301	11	403	11	863	7	397	3
1959	264	4	1,181	11	325	2	834	11	577	2
1960	542	7	1,022	5	307	6	711	13	655	—
1961	682	3	1,111	3	350	3	750	6	681	2
1962	583	1	1,460	17	386	3	757	10	531	5
1963	340	—	1,351	10	375	1	845	18	885	5
1964	516	1	1,463	7	496	9	708	6	624	6
1965	611	2	1,567	13	365	3	759	6	678	5

資料：国立およびゴム会社附属病院で扱われたマラリアの月間調査

扱われたマラリアと州別分類

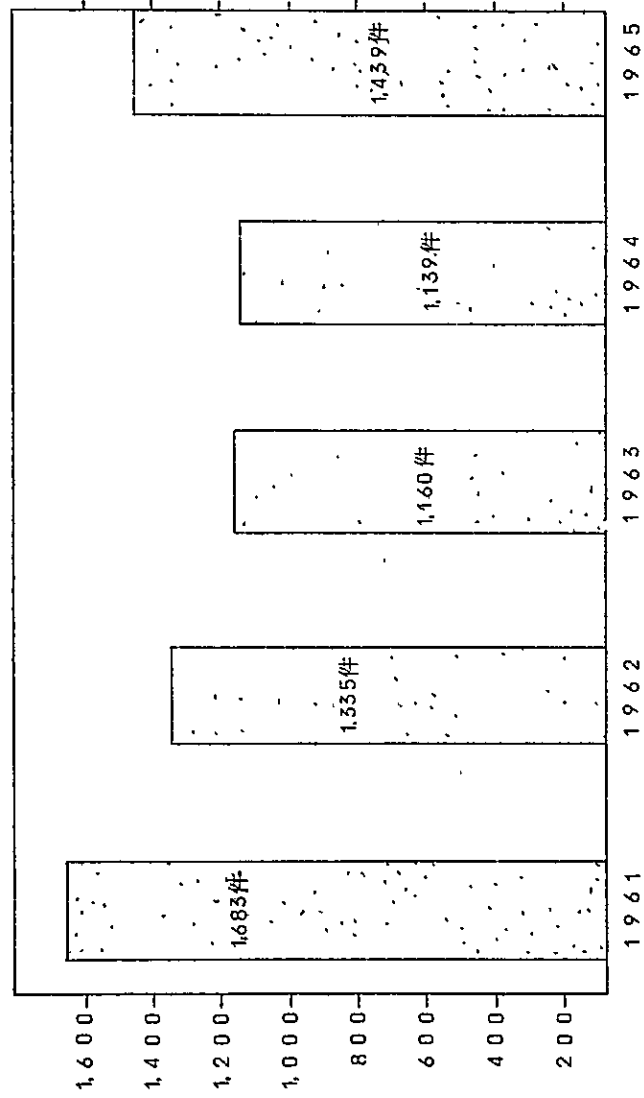
ネグリー センピラン		マラソカ		ジョホール		パハン		トンガンヌー		ケランタン		合計	
件 数	死 亡	件 数	死 亡	件 数	死 亡	件 数	死 亡	件 数	死 亡	件 数	死 亡	件 数	死 亡
648	7	150	—	547	7	398	9	340	4	252	1	6,499	76
573	5	72	4	583	11	452	3	459	6	262	5	5,876	84
548	9	60	—	524	9	581	8	375	3	376	2	5,581	69
1,222	5	119	1	592	14	909	8	618	1	258	4	6,899	63
1,540	5	172	2	320	1	841	8	660	5	282	2	7,052	54
1,329	16	183	3	784	18	1,006	7	640	2	358	2	7,874	65
1,342	5	199	4	1,016	14	864	10	561	4	354	4	8,053	77
1,372	16	140	2	1,592	29	988	16	945	4	393	12	9,226	113
690	6	73	2	656	7	722	8	839	8	362	3	7,149	63
771	5	122	1	1,200	15	1,170	7	811	3	274	3	8,328	63

シフトリア発生件数の州別分類(1961年～1965年)

年 度	1961		1962		1963		1964		1965	
	件 数	発 生 率 (人口 10万)	件 数	発 生 率 (人口 10万)	件 数	発 生 率 (人口 10万)	件 数	発 生 率 (人口 10万)	件 数	発 生 率 (人口 10万)
ベ ル リ ス	23	22.69	5	4.80	4	3.74	6	5.50	4	3.58
ケ タ	190	24.23	108	13.38	53	6.38	99	11.64	85	9.73
ベ ナ ン	376	58.55	327	49.42	122	17.92	181	25.97	261	36.55
ベ ラ ク	313	22.61	219	15.34	194	13.19	321	21.29	423	27.33
セ ラ ン ゴ ー ル	291	25.09	76	6.33	157	12.65	222	17.40	282	21.42
ネ グ リ セ ン ピ ラ ン	93	22.00	102	23.26	152	33.56	72	15.44	85	17.70
マ ラ ツ カ	56	16.71	77	22.11	73	20.21	38	10.21	77	20.07
ポ ヨ ホ ー ル	303	28.46	347	31.38	306	26.73	122	10.35	132	10.86
バ ハ ン	33	9.31	44	12.03	41	10.94	18	4.65	60	15.03
ト レ ガ ン ス ー	3	0.95	9	2.75	31	9.21	17	4.91	14	3.93
ケ ラ ン タ ン	2	0.35	21	3.57	27	4.47	43	6.95	16	2.51
合 計	1,683	23.58	1,335	18.16	1,160	15.25	1,139	14.58	1,439	7.91

資料：伝染病月間調査による

シフトリア発生度数分布図(1961年～1965年)



西部マレーシアにおけるジフテ  
州，性，民族，地域，年齢

州	性		民族				地域		年齢		
	男	女	マ レ イ 人	中 国 人	イ ン ド 人	そ の 他	都 市	農 村	0-5	5-11	11以上
ペルリス	1	3	2	2	-	-	1	3	-	-	1
ケダ	41	44	27	38	20	-	33	52	-	7	12
ペナン	139	122	38	190	32	1	205	56	7	11	28
ベラク	211	253	120	255	64	5	306	138	9	21	49
セランゴール	179	115	59	94	40	1	195	99	2	23	33
ネグリセンピラン	50	42	33	48	10	1	46	46	2	9	13
マラソカ	49	28	17	54	6	-	45	32	1	4	5
ジョホール	69	69	52	77	8	1	62	76	7	10	20
パハン	39	21	23	29	8	-	23	37	1	2	8
トレガンヌー	9	5	9	3	2	-	4	10	-	3	5
ケラントアン	9	7	13	3	-	-	3	13	-	-	4
合計	796	689	393	893	190	9	923	562	29	90	178

註 軍隊から2件の報告があつたが不詳なのでこの統計には含めない。

リア発生件数  
群，診断別内訳（1965年）

年 齢 群													診 断		感染前の 免 疫	
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 -14	15 -44	45 以上	臨 床	検 査		免 疫	非 免 疫
												陽	陰			
-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	4
16	14	13	12	1	5	-	1	-	1	3	-	49	36	-	-	85
34	35	18	16	22	17	12	12	6	12	29	2	3	258	-	-	261
57	53	48	36	29	24	20	18	8	32	39	1	7	416	21	-	441
46	39	25	26	22	14	18	10	9	16	10	1	8	272	14	-	294
15	8	8	5	6	5	5	2	2	4	8	-	7	78	7	-	92
6	8	9	13	5	7	3	-	1	5	9	1	-	77	-	-	77
22	22	15	20	6	5	1	2	1	6	1	-	11	121	6	-	138
12	44	3	2	3	7	6	3	1	5	5	-	8	52	-	-	60
1	11	11	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	14	-	-	14
6	11	2	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	16	-	-	16
215	186	142	131	94	87	65	48	28	82	105	5	95	1,342	48	-	1,485

資料 シフテリア調査報告

州の発見件数	1,485
軍の発見件数	2
検査結果陰であつた件数	48
	<u>1,435</u>

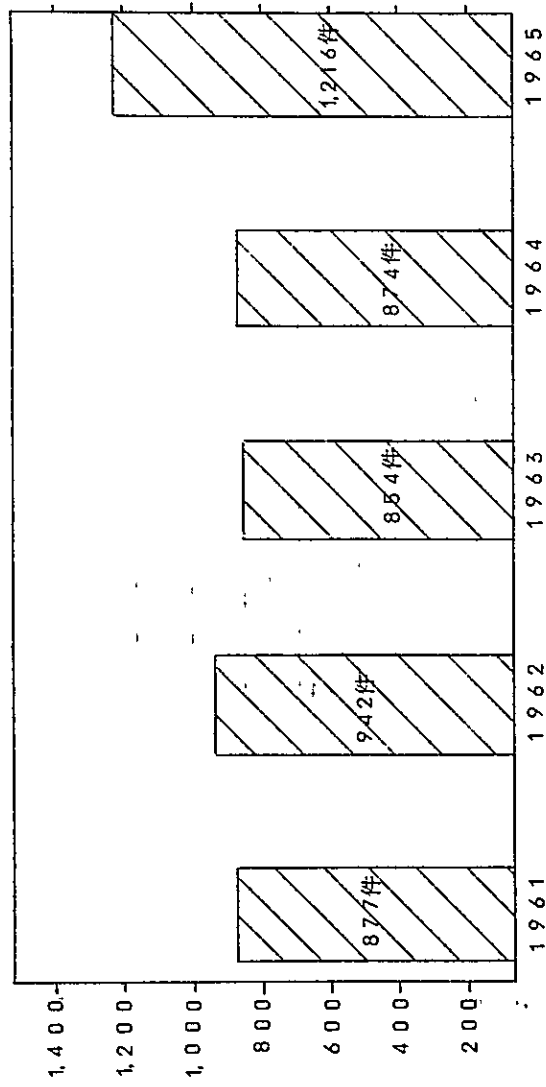
腸チフス発生件数州別分類 (1961年～1965年)

年 度	1961		1962		1963		1964		1965	
	件 数	発 生 率 (人口 10万)	件 数	発 生 率 (人口 10万)	件 数	発 生 率 (人口 10万)	件 数	発 生 率 (人口 10万)	件 数	発 生 率 (人口 10万)
ベ ル リ ス	19	18.75	12	11.5	3	2.80	4	3.67	20	17.88
ケ	134	17.09	125	15.48	102	12.29	97	11.41	99	11.33
ベ ナ シ	34	5.29	29	4.38	39	5.73	42	6.03	71	9.94
ベ ラ ク	167	12.06	117	8.19	224	15.23	285	18.90	209	13.50
セ ラ ン ゴ ー ル	96	8.28	95	7.91	66	5.32	49	3.84	124	9.42
ネ グ リ セ ン ビ ラ ン	73	17.27	83	18.93	86	18.99	49	10.51	81	16.87
マ ラ ツ カ	55	16.41	98	28.13	63	17.44	35	9.40	81	21.11
ジ ヨ ホ ー ル	94	8.83	207	18.72	137	11.97	170	14.42	263	21.63
バ ハ ン	120	33.87	68	18.60	65	17.34	60	15.49	113	28.31
ト レ ガ ン ス ー	25	7.89	10	3.06	19	5.64	21	6.07	20	5.61
ケ ラ ン タ ン	60	10.51	98	16.65	50	8.27	62	10.02	135	21.20
合 計	877	12.29	942	12.77	854	11.23	874	11.19	1,216	15.13

資料：伝染病月間調査



腸チフス発生度数分布図(1961年~1965年)



西部マレーシアに於ける腸チフ  
州，性，民族，地域，年齢

州	性		民族				地域		年齢			
	M	F	M	C	I	O	U	R	0-5	5-11	1	2
ペルリス	13	7	17	3	—	—	6	14	—	—	—	—
ケダ	58	41	74	11	14	—	21	78	—	—	—	2
ペナン	39	32	33	27	10	1	41	30	—	1	—	2
ベラク	127	84	121	46	44	—	88	123	—	—	—	2
セランゴール	80	40	54	38	22	—	66	54	1	—	—	—
ネグリセノピラン	56	25	43	18	20	—	29	52	—	—	1	—
マラツカ	36	45	57	10	14	—	15	66	—	1	—	—
ジョホール	147	116	201	49	13	—	122	141	—	—	—	—
パハン	64	49	66	27	20	—	23	90	—	—	—	—
トレガンヌー	14	6	19	1	—	—	2	18	—	—	—	—
ケラントアン	73	62	114	11	6	4	29	106	—	—	—	—
合計	707	507	799	241	169	5	442	772	1	2	1	6

註 軍隊から4件の報告があつたが不詳なのでこの統計に含めない。

ス発生件数

群，診断別内訳（1965年）

年 齢 群												診 断		感染前の 免 疫	
3	4	5	6	7	8	9	10	11 -14	15 -44	45 以上	臨末	検 査		免 疫	非 免 疫
											陽	陰	疫	疫	
1	-	-	-	-	-	1	-	7	10	1	5	15	-	-	20
1	3	-	1	2	1	6	6	12	61	4	71	28	-	-	99
1	1	-	2	2	1	2	2	10	36	11	45	20	-	-	71
4	3	3	1	4	4	8	8	32	137	5	112	97	2	-	211
1	1	2	4	1	3	3	7	23	65	9	81	39	-	-	120
1	1	4	2	2	5	3	3	21	34	4	35	46	-	-	81
-	1	2	-	1	2	3	4	13	47	11	61	20	-	-	81
3	7	10	10	12	8	6	16	54	125	12	180	83	-	-	263
1	3	-	3	5	9	4	5	23	58	2	52	61	-	-	113
-	1	-	1	-	-	-	1	1	16	-	9	11	-	-	20
1	1	2	2	6	4	6	6	22	76	9	64	71	-	-	135
14	22	23	26	35	37	42	58	218	665	64	715	497	2	-	1,214

資料：腸チフス調査報告

州よりの報告件数 1,214

軍よりの報告件数 4

検査結果陰であつた件数 2

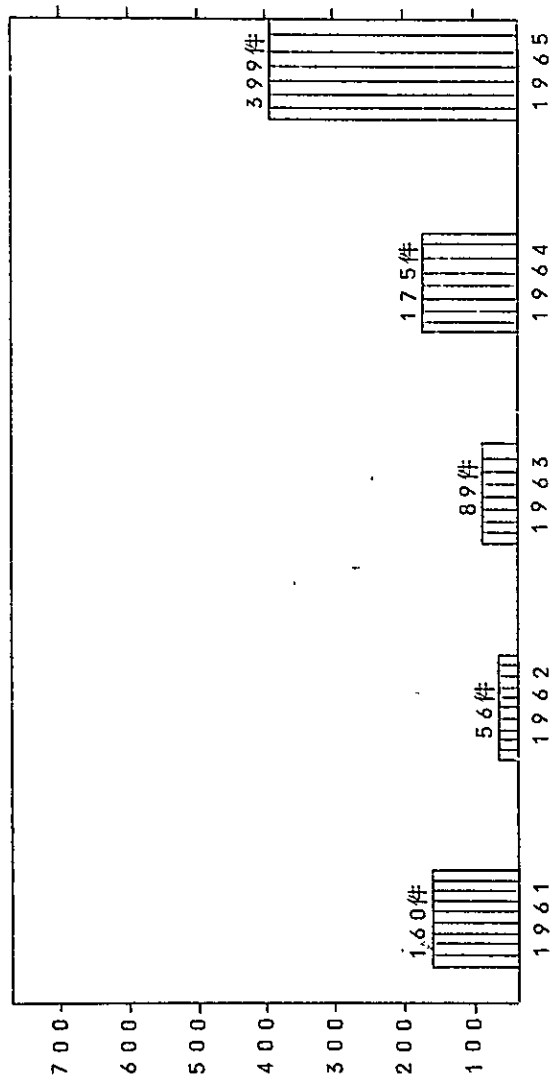
1,216

ポリオ発生件数州別分類(1961年~1965年)

年 度	1961		1962		1963		1964		1965	
	件 数	発 生 率 (人口 10万)	件 数	発 生 率 (人口 10万)	件 数	発 生 率 (人口 10万)	件 数	発 生 率 (人口 10万)	件 数	発 生 率 (人口 10万)
ベ ル リ ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ケ	4	0.51	5	0.62	7	0.84	—	—	17	1.95
ベ ナ ン	19	2.96	2	0.30	7	1.03	20	2.87	54	7.56
ベ ラ タ	17	1.23	4	0.28	8	0.54	32	2.12	185	11.95
セ ラ ン ゴ ー ル	70	6.03	13	1.08	16	1.29	62	4.86	57	4.33
ネ グ リ セ ン ビ ラ ン	12	2.84	3	0.68	2	0.44	31	6.65	29	6.04
マ ラ ッ カ	27	8.06	3	0.86	30	8.31	18	4.84	37	9.64
ジ ヨ ホ ー ル	7	0.66	3	0.27	12	1.05	7	0.59	10	0.82
バ ハ ン	4	1.13	12	3.28	1	0.27	2	0.52	5	1.25
ト レ ガ ン ス ー	—	—	8	2.44	—	—	1	0.29	—	—
ケ ラ ン タ ン	—	—	3	0.51	6	0.99	2	0.32	5	0.79
合 計	160	2.24	56	0.76	89	1.17	175	2.24	399	4.97

資料：伝染病月間調査

ポリオ発生度数分布図(1961年～1965年)



西部マレーシアにおけるポリオ  
州，性，民族，年齢

民族	性	年 齢								
		0-5	5-11	1	2	3	4	5	6	7
中国人	男 141	6	20	37	32	21	4	8	5	1
	女 73	3	9	18	15	9	7	2	2	2
マレイ人	男 44	1	2	17	15	5	—	—	1	—
	女 30	4	2	9	5	4	1	1	2	1
インド人	男 58	2	12	23	6	8	3	1	—	—
	女 50	2	5	18	10	6	3	2	1	1
その他	男 2	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女 1	—	1	—	—	—	—	—	—	—

資料：ポリオ調査報告

発生件数

群，診断別内訳(1965年)

群						麻痺性	非麻痺性	診断		地域	
8	9	10	11-14	15-44	45以上			臨床	研究	都市	農村
—	—	—	—	6	—	131	10	119	22	108	33
1	3	—	1	1	—	67	6	64	9	46	27
1	—	—	—	2	—	41	3	29	15	20	24
1	—	—	—	—	—	28	2	25	5	15	15
—	—	—	—	3	—	52	6	55	3	35	23
—	1	—	1	—	—	49	11	43	7	26	24
—	—	—	—	1	—	2	—	2	—	2	—
—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	—

西部マレーシアに於

州	1946		1947		1948		1949		1950		1951		1952	
	件数	死亡数	件数	死亡数	件数	死亡数	件数	死亡数	件数	死亡数	件数	死亡数	件数	死亡数
ペルリス	—	—	71	55	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ケダ	423	141	880	218	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ペナン	133	22	32	16	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベラタ	55	15	419	211	124	—	—	—	—	—	—	—	1	—
セランゴール	—	—	692	107	112	—	—	—	—	—	—	—	1	—
ネグリセンピラン	—	—	23	5	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マラソカ	—	—	32	3	38	—	3	—	—	—	2	—	—	—
ジョホール	—	—	20	5	132	—	43	4	—	—	—	—	—	—
パハン	1	—	146	26	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—
トレガンヌー	2300	407	1,979	241	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ケラントン	373	74	181	46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	3285	659	4475	933	521	72	46	4	—	—	2	—	2	—

資料：天然痘調査報告



ける天然痘の発生件数

1953		1954		1955		1956		1957		1958		1959		1960		1961		1962		1963		1964		1965			
件	死	件	死	件	死	件	死	件	死	件	死	件	死	件	死	件	死	件	死	件	死	件	死	件	死	件	死
数	亡	数	亡	数	亡	数	亡	数	亡	数	亡	数	亡	数	亡	数	亡	数	亡	数	亡	数	亡	数	亡	数	亡
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	2	15	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38	2	15	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—			

マレーシアに於けるコレラ感

汚 染 州	1902-1907		1910-1915		1918-1920		1924-1927	
	C	D	C	D	C	D	C	D
マラヤ州(マラヤ半島) ベラク, セランゴール, パハン	133	97						
ベラク, セランゴール, トレガンヌー, ネグリセンピラン			1,685	1,114				
ベラク, セランゴール(1件) パハン(1件)					186	149		
ベラク, セランゴール							132	85
ベルリス								
ケランタン, トレガンヌー								
マラツカ, ジョホール, ベラク(1件)								
ケダ, ベルリス, ケランタン, トレガンヌー, パハン, ジョホール, セランゴール(4件)								
セランゴール								
サラワク								
サバ								

註 C = 感染者 D = 死亡

染者数(1902年～1965年)

1945		1946		1961		1962		1963		1964		1965	
C	D	C	D	C	D	C	D	C	D	C	D	C	D
287	216												
		221	182										
								153	15				
										512	143		
												1	0
				301	70	16	3	98	7	198	33	15	1
				7	0	35	11	—	—	5	1	—	—

資料：(i) コレラ調査委員会報告

(ii) コレラ発生届

州別によるジフテリア免疫

州	1 9 6 4												
	ジフテリア、破傷風、百日ぜき 予防ワクチンの接種							ジフテリアトキソイド					
	1才未満			1才以上			補強接種		1才未満		1才以上		補強
	第一回目	第二回目	第三回目	第一回目	第二回目	第三回目	第一回目	第二回目	第一回目	第二回目	第一回目	第二回目	第一回目
ベルリス	877	518	401	664	425	280	2	—	—	—	—	—	—
ケダ	2,125	1,188	821	310	176	157	2	1	1,870	1,085	1,685	911	60
ベナン	8,513	5,311	3,882	740	626	695	71	4	638	333	1,739	1,021	339
ベラク	6,792	3,962	2,545	1,871	1,300	988	150	12	2,387	752	16,711	10,227	3,465
セランゴール	8,725	5,768	4,514	4,996	4,047	3,775	109	3	20	1	1,018	283	117
ネグリセ ンピラン	5,577	4,725	4,121	162	133	182	9	—	60	54	2,361	1,936	165
マラツカ	7,321	6,449	5,924	738	570	660	9,634	4,495	—	—	—	—	—
ジョホール	12,860	8,016	5,953	114	22	19	254	2	1,901	1,172	11,894	6,855	2,253
バハン	4,110	2,438	1,628	1,648	857	621	43	11	706	203	2,266	991	1,023
トレガ ンヌー	859	450	246	700	331	208	—	—	71	69	427	176	—
ケラン ダ	2,392	1,309	793	1,187	716	544	3	—	8	4	174	89	—
合計	59,951	40,134	30,828	13,130	9,203	8,129	10,277	4,528	7,661	3,673	38,275	22,489	7,422

資料：ジフテリア予防ワクチン接種月間調査

対策( 1964.1965年 )

1 9 6 5														
	ジフテリア, 破傷風, 百日せき 予 防 ワ ク チ ン 接 種									ジフテリアトキソイド				
接種	1才未満			1才以上			補強接種		1才未満		1才以上		補強接種	
第二回目	第一回目	第二回目	第三回目	第一回目	第二回目	第三回目	第一回目	第二回目	第一回目	第二回目	第一回目	第二回目	第一回目	第二回目
—	955	609	441	844	561	507	22	—	—	—	—	—	—	—
3	3878	2064	1492	720	384	299	45	2	1,155	792	2368	1,482	124	1
55	9,573	6,760	5,501	491	501	639	51	—	780	400	4519	2,728	818	109
87	9,445	5,791	4,222	2,059	293	961	149	—	901	590	14,975	12,192	402	10
—	12,544	8,931	6,737	5,157	4,017	3,515	705	13	81	64	74	49	19	—
3	6,448	5,519	4,973	58	35	36	8	—	5	5	3,722	2,765	341	2
—	8,804	7,486	6,170	1,703	1,217	1,169	9,832	723	—	—	—	—	1,784	—
1,988	13,771	9,266	6,933	9	3	4	537	19	1,008	666	13,514	9,210	2,929	2,297
152	5,531	3,663	2,681	2,862	2,061	1,612	124	40	213	94	4,041	4,018	1,400	1,540
—	1,180	588	305	828	469	410	3	30	42	5	369	178	104	37
—	2,553	1,414	1,030	1,507	892	681	79	45	—	—	210	113	26	6
2,288	74,682	52,091	40,485	16,238	11,433	9,833	11,555	872	4,185	2,616	43,792	32,735	7,947	4,008

州別による天然痘免疫

州	第 一 回							
	幼 児 ( 1 才 未 満 )			未 就 学 児 ( 1 才 ~ 6 才 )			学 ( 7 才 ~ 1 9	
	接 種 人 数	検 査 人 数		接 種 人 数	検 査 人 数		接 種 人 数	検 査 陽
		陽	陰		陽	陰		
ベ ル リ ス	2490	2145	240	1025	941	79	164	164
ケ ダ	26754	18194	1949	4209	2568	485	9578	6182
ベ ナ ン	18537	15297	1282	799	612	24	19	17
ベ ラ ク	33832	24005	2177	9451	6755	475	3962	1947
セランゴール	32806	26479	1055	5059	3572	125	4651	3588
イグリセンピラン	9232	7193	253	5361	4712	152	3172	3020
マ ラ ツ カ	12858	10832	1272	787	683	84	315	178
ジョホール	33742	25409	2228	6343	4576	577	4060	3455
パ ハ ン	13070	9002	665	3483	2595	120	1227	1046
トレガンヌー	6860	4214	727	3019	1044	196	1100	547
ケランタン	14982	9793	839	4526	2192	149	248	227
合 計	205165	152563	12687	44062	30250	2466	28496	20371

対策 ( 1964 )

接 種					第 2 回 接 種				
童 才 ) 人 数	20才以上			接 種 者 総 数			20才 以 下	20才 以 上	接 種 人 数 合 計
	接 種 人 数	検 査 人 数		接 種 人 数	検 査 人 数		接 種 人 数	接 種 人 数	
陽		陰	陽		陰				
-	65	65	-	3744	3315	319	2041	2242	4283
853	171	159	9	40712	27103	3296	14281	6316	20597
-	45	41	-	19400	15967	1306	19460	11129	30589
324	939	867	23	48184	33574	2999	9912	5912	15824
280	151	111	10	42669	33750	1470	2088	8559	10647
150	2	2	-	17767	14927	555	5513	2022	7535
49	5	5	-	13965	11698	1405	5434	3323	8757
99	983	786	34	45128	34226	2938	32272	3510	35782
56	19	10	4	17799	12653	845	7612	598	8210
80	140	17	10	11119	5822	1013	666	328	994
12	10	-	-	19766	12212	1000	8894	17272	26166
1903	2530	2063	90	280253	205247	17146	108173	61211	169384

資料：天然痘予防対策月間調査

州別による天然痘免疫

州	第 1 回							
	幼 児			未 就 学 児			学 校	
	接 種 人 数	検 査 人 数		接 種 人 数	検 査 人 数		接 種 人 数	検 査 陽
		陽	陰		陽	陰		
ベ ル リ ス	2438	2216	132	908	880	28	2	2
ケ ダ	28712	21383	2666	4202	2895	508	411	386
ベ ナ ン	18213	14730	1884	817	564	6	21	17
ベ ラ ク	29685	21262	2219	9196	6897	481	1789	930
セ ラ ン ゴ ー ル	30468	25569	858	4348	3286	86	6221	4871
ネ グ リ セ ン ビ ラ ン	8509	6837	357	3034	2602	97	630	625
マ ラ シ カ	11708	9931	671	261	249	10	1	1
ジ ョ ホ ー ル	32096	24768	2816	5029	3610	287	2456	1231
バ ハ ン	12888	9455	844	2817	1934	208	1749	1060
ト レ ガ ン ス ー	6817	4239	925	4328	2483	342	58	35
ケ ラ ン タ ン	16841	116061	1862	4581	2107	390	1413	4
合 計	198285	151451	15234	39521	27507	2443	14751	9162



対策（1965年）

接 種				第 2 回 接 種					
童	20才以上			接 種 者 総 数			20才 以 下	20才 以 上	接 種 人 数 合 計
人 数	検 査 人 数		接 種 人 数	検 査 人 数		接 種 人 数	接 種 人 数		
陰	陽	陰		陽	陰				
-	-	-	-	3258	3098	160	2759	1901	4660
23	-	-	-	33325	24664	3197	6480	7463	13943
-	35	34	-	19086	15345	1890	17436	13164	30600
116	260	166	27	40930	29255	2843	6747	7242	13989
156	68	63	2	41105	33789	1102	3105	9926	13031
4	-	-	-	12173	10064	458	8848	1680	10528
-	3	3	-	11973	10184	681	8416	2250	10666
353	6	4	2	39587	29613	3458	25490	3413	28903
132	23	-	-	17477	12449	1184	4865	827	5692
23	-	-	-	11203	6757	1290	220	619	839
2	8	2	2	22843	13174	2256	6799	13534	20333
809	403	272	33	252960	185392	18519	91165	62019	153184

資料：天然痘予防対策月間調査

州別のBCG接種運動(1)

州	1 9 6 4						
	ツ 反 テ ス ト	検 査	陰	B . C . G . 接 種			
				0-6	7-14	15+	新生児
ベ ル リ ス	5094	4653	3142	1039	2057	36	1647
ケ ダ	23314	21870	14938	5937	8119	441	8776
ベ ナ ン	41792	40105	17580	6276	10705	328	17089
ベ ラ ク	39690	37638	26659	7607	16924	1072	17352
セレンゴール	49665	47199	32060	15983	15592	78	26581
ネグリセンピラン	11692	10499	6207	2104	3387	331	8504
マ ラ シ カ	36122	32056	16982	10785	5776	97	14252
ジヨホール	41111	41475	25523	7733	16962	338	11735
バ ハ ン	7936	6903	5440	1356	3570	121	7742
トレガンヌー	6181	5855	1878	43	1806	29	2491
ケランタン	4240	4048	2800	326	2200	7	4634
合 計	269837	252301	153209	59189	87098	2878	120803

964年, 1965年)

1 9 6 5								
合 計	ツ 反 テ ス ト	検 査	陰	B . C . G . 接 種				
				0-6	7-14	15+	新生児	合 計
4779	4721	4450	2291	347	1925	9	2195	4476
23273	21698	20185	13440	1224	11587	211	13239	26261
34398	43016	41439	13244	4429	8289	121	18503	31342
42955	39122	36694	26088	14241	11429	307	15465	41442
58234	60389	57713	39618	17343	21469	96	25649	64557
14326	13767	12400	8501	2703	4946	246	10465	18360
30910	27400	25783	12834	6736	5895	177	11236	24044
36768	46050	43792	25220	5591	18195	263	14991	39040
12789	7867	6986	4839	1135	3747	167	8992	14041
4369	10683	10076	2481	61	2409	11	3931	6412
7167	9080	8415	6153	908	5028	6	6565	12507
269968	283793	267933	154709	54718	94919	1614	131231	282482

資料：B . C . G . 接種月間調査

港湾衛生対策—業務内容(

年 度	検 査 船 舶 数						船 員 及				
	船 舶 数			ト ン 数			船 員			三 等	
	ベ ナ ン 港	ス エ テ ン ハ ム 港	合 計	ベ ナ ン 港	ス エ テ ン ハ ム 港	合 計	ベ ナ ン 港	ス エ テ ン ハ ム 港	合 計	ベ ナ ン 港	ス エ テ ン ハ ム 港
1961	389	110	499	1412333	418733	1831066	29722	9583	39305	54694	14133
1962	389	138	527	1406039	554651	1960690	28595	11927	40522	47386	13432
1963	629	371	1000	2085163	1274618	3359781	39178	21853	61031	45912	13262
1964	387	584	971	1385006	2196672	3581678	27493	33283	60776	46130	12588
1965	245	108	353	971751	439347	1411098	20651	10454	31105	49662	13962

1961年～1965年)

び 船 客 数				検 疫 方 法											
船 客	一、二等船客			合 計			検 疫 中			検 疫 済			海 上 待 機 中		
合 計	ベ ナ ン 港	ス エ テ ン ハ ム 港	合 計	ベ ナ ン 港	ス エ テ ン ハ ム 港	合 計	ベ ナ ン 港	ス エ テ ン ハ ム 港	合 計	ベ ナ ン 港	ス エ テ ン ハ ム 港	合 計	ベ ナ ン 港	ス エ テ ン ハ ム 港	合 計
68827	10904	7426	18330	95320	31142	126462	71	1	72	121	-	121	25938	20643	46581
60818	12957	8511	21468	88938	33870	122808	102	-	102	76	-	76	19293	17817	37110
59174	15833	10338	26171	100923	45453	146376	48	-	48	18	-	18	25163	22099	47262
58718	11246	9274	20520	84869	55145	140014	53	-	53	5	-	5	21777	21806	43583
63624	7488	8222	15710	77801	32638	110439	22	-	22	11	-	11	18619	21815	40434

資料：港務衛生業務月間報告

国際空港における保菌蚊対策  
(幼虫蚊の1)

国際空港 クアララムプール	1964								
	待機地域**						滑走路		
	幼虫繁殖			蚊			幼虫繁殖		
	ア エ ジ ブ テ イ 類	ア ノ フ エ ス 類	そ の 他	ア エ ジ ブ テ イ 類	ア ノ フ エ ス 類	そ の 他	ア エ ジ ブ テ イ 類	ア ノ フ エ ス 類	そ の 他
	1	1	25	1	202	5014	1	42	1614
* 国際空港 スパン									

\* 1965年9月1日開港

\*\* 飛行機が待機するための場所で建物、陸地、海上を含む

\*\*\* 待機地域の400メートル四方附近

( 1 9 6 4 年, 1 9 6 5 年 )  
週間の捕獲数)

			1 9 6 5											
地 域 ***			待 機 地 域						滑 走 路 地 域					
蚊			幼 虫 繁 殖			蚊			幼 虫 繁 殖			蚊		
ア	ア	そ	ア	ア	そ	ア	ア	そ	ア	ア	そ	ア	ア	そ
エ	ノ	の	エ	ノ	の	エ	ノ	の	エ	ノ	の	エ	ノ	の
ジ	フ	他	ジ	フ	他	ジ	フ	他	ジ	フ	他	ジ	フ	他
ブ	エ		ブ	エ		ブ	エ		ブ	エ		ブ	エ	
テ	ス		テ	ス		テ	ス		テ	ス		テ	ス	
イ	類		イ	類		イ	類		イ	類		イ	類	
類			類			類			類			類		
1	354	7771	1	3	76	1	191	5673	1	343	1606	1	450	10404
			1	1	219	捕獲なし			1	8	1254	捕獲なし		

資料：国際空港保菌蚊検査季間報告

州別の常設および臨時歯

	ペルリス	ケダ
歯科医師による歯科医院	1	4
歯科看護要員による学校の歯科医院	-	5
巡回歯科医院	-	-
海上歯科医院	-	-
歯科専門医あるいは歯科医師による病院の歯科	-	1
常勤の歯科医師による基幹保健所の歯科	1	-
常勤の歯科看護婦による準保健所の歯科	-	-
非常勤歯科看護婦による準保健所の歯科	4	18
臨時歯科医院およびその他	1	5
合計	7	33

※ 常勤歯科医師のいる歯科



科医院 ( 1 9 6 5 年 )

ペナン	ベラク	セレン ゴール	ネグリセン ピラン	マラツカ	ポホール	パハン	トレガ ンヌー	ケラン タ	合 計
2	11	3	7	3	9	6	2	1	49
10	19	15	8	7	9	1	3	1	78
1	3	2	-	1	1	-	2	1	11
-	1	-	-	-	-	1	-	-	2
1	1	1	1	1	1	1	-	1	9
2	1	3	2	3	-	-	-	3	15
3	3	-	-	2	-	-	-	1 <sup>※</sup>	9
2	19	4	12	6	21	16	5	6	113
6	2	5	10	3	-	2	1	1	36
27	60	33	40	26	41	27	13	15	322

資料：歯科医院年次調査

州別による歯科患者

州	1 9 6 4						
	未就学児		学 童		大 人		合
	初 診 患 者	合 計	初 診 患 者	合 計	初 診 患 者	合 計	初 診 患 者
ベ ル リ ス	649	1,411	2,494	8,476	4,039	8,078	7,182
ケ ダ	3,020	6,564	15,685	34,118	10,940	20,009	29,651
ベ ナ ン	4,497	9,496	17,235	52,498	17,979	33,087	39,711
ベ ラ ク	10,855	18,332	38,349	109,705	29,063	40,252	78,267
セ レ ン ゴ ー ル	28,755	29,958	32,807	59,773	36,767	37,992	94,329
ネ グ リ セ ン ビ ラ ン	6,866	10,740	25,355	51,526	19,837	30,556	52,058
マ ラ ツ カ	2,714	5,288	14,335	43,197	5,988	11,981	23,037
ジ ョ ホ ー ル	8,487	17,388	31,234	73,194	19,576	35,200	59,297
バ ハ ン	3,026	4,570	14,951	34,441	10,444	17,686	28,421
ト レ ガ ン ス ー	2,051	3,394	11,919	17,160	20,070	23,261	34,040
ケ ラ ン タ ン	1,321	2,577	9,211	24,256	9,357	24,980	19,889
歯科要員訓練学校	81	334	2,354	27,481	222	1,159	2,657
合 計	72,328	110,052	215,929	535,825	180,282	282,241	468,839

資料：歯科医師および歯科看護婦による歯科衛生業務月間調査

(1964.1965年)

計	1 9 6 5							
	未就学児		学 童		大 人		合 計	
	初 診 患 者	合 計	初 診 患 者	合 計	初 診 患 者	合 計	初 診 患 者	合 計
17,965	724	1,525	3,237	9,258	4,008	8,421	7,969	19,204
60,691	3,158	6,459	15,754	35,125	12,233	23,531	31,145	65,115
95,081	5,951	10,886	14,653	51,222	19,777	38,970	40,381	101,078
168,289	12,988	18,372	39,631	122,249	31,378	43,994	8,397	184,615
127,723	31,001	33,274	36,723	71,763	34,936	43,774	102,660	148,811
92,822	6,772	10,535	24,782	53,944	19,852	30,230	51,406	94,709
60,466	2,755	5,203	15,631	51,489	6,919	13,685	25,305	70,377
123,782	9,723	21,507	34,919	82,447	20,354	34,648	64,996	138,602
56,697	2,602	4,568	13,472	41,903	11,018	18,523	27,092	64,994
43,815	1,681	3,419	8,760	18,511	10,619	31,397	21,060	53,327
51,813	1,355	2,573	9,746	27,233	10,345	31,273	21,446	61,079
28,974	195	609	1,910	27,981	205	1,539	2310	30,129
928,118	7,8905	118,930	219,218	593,125	181,644	319,985	47,9767	1,032,040

西部マレーシアにおける歯科衛生事業（歯科）

	新 患 者	全 患 者 数	抜 歯		充 填	調 整
			一 時 抜 歯	永 久 抜 歯		
ペ ル リ ス	7,182	17,965	4,708	8,911	6,621	606
ケ                   ダ	29,651	60,691	23,047	27,001	14,953	4,155
ベ                   ナ                   ン	39,711	95,081	32,981	45,580	36,025	15,091
ベ                   ラ                   ク	78,267	168,289	70,664	46,854	84,174	5,865
セ                   レ                   ン                   ゴ                   ール	94,329	127,723	56,665	51,140	43,284	6,186
ネ                   グ                   リ                   セ                   ン                   ピ                   ラン	52,058	92,822	28,995	39,407	31,705	6,062
マ                   ラ                   ツ                   カ	23,037	60,466	18,541	17,770	24,797	9,442
ジ                   ョ                   ホ                   ー                   ル	59,297	125,782	45,406	52,635	30,582	13,116
バ                   ハ                   ン	28,421	56,697	15,257	20,419	17,990	3,894
ト                   レ                   ガ                   ン                   ヌ                   ー	34,040	43,815	14,380	44,381	10,188	1,373
ケ                   ラ                   ン                   タ                   ン	19,889	51,813	10,782	28,513	19,462	5,191
歯科要員訓練学校 (ペ ナ ン)	2,657	28,974	2,951	1,167	15,404	6,761
合                   計	468,539	928,118	324,377	383,778	335,185	77,742

資料：歯科業務調査月間報告

医師および歯科看護婦による（1964年）

歯 石 除 去	口 腔 手 術	義 歯		発 疱 ガ ス	X 線 治 療	歯 矯 正	全 治 件 数	そ の 他 の 治 療
		総 義 歯	部 分 義 歯					
130	53	124	110	-	72	2	497	1120
580	127	269	170	21	396	4	1633	6343
266	1049	230	296	133	862	33	9635	7907
3000	1533	219	447	21	644	181	14145	16587
1031	356	169	174	-	218	21	4264	8864
734	824	166	276	30	521	13	4020	10360
1594	1902	22	304	22	695	24	5547	12172
646	722	126	303	41	1248	57	4991	16571
338	1073	142	195	3	551	5	1396	9033
103	128	463	310	-	67	2	1363	1988
512	400	339	291	-	222	1	1948	4984
196	20	63	298	4	425	90	2803	14090
9131	8187	2332	3174	275	5921	433	52242	110019

西部マレーシアにおける歯科衛生事業（歯科

州	新 患 者	全 患 者 数	抜 歯		充 填	調 整
			一 時 抜 歯	永 久 抜 歯		
ペ ル リ ス	7969	19204	5016	9010	9224	683
ケ ダ	31145	65116	20571	30395	15638	4960
ペ ナ ン	40381	101078	33940	49096	38088	5148
ベ ラ ク	83997	184615	62018	36168	93070	17863
セ レ ン ゴ ール	102660	148811	59204	51869	50058	7142
ネ グ リ セ ン ピ ラン	51406	94704	29123	38803	35219	7777
マ ラ ツ カ	25305	70377	21125	18956	31105	10077
ジ ョ ホ ール	64996	138602	49751	51088	38598	20357
パ ハ ン	27092	64994	18981	22163	22009	5026
ト レ ガ ン ヌ ー	21060	53327	14327	42351	7923	1291
ケ ラ ン タ ン	21446	61079	13023	35625	20524	5794
歯科要員訓練学校 (ペナ ン)	2310	30129	3708	1020	15832	7636
合 計	479767	1032040	330795	406484	377288	93754

資料：歯科業務調査月間報告

医師および歯科看護婦による（1965年）

歯 石 除 去	口 腔 手 術	義 歯		発 瘻 ガ ス	X 線 治 療	歯 矯 正	全 治 件 数	そ の 他 の 治 療
		総 義 歯	部 分 義 歯					
95	22	125	73	—	65	4	977	883
249	311	268	195	25	442	179	1,253	8,859
258	1,069	369	298	65	1,058	29	9,727	10,490
3,628	1,280	190	466	40	890	184	11,155	17,568
1,006	376	220	204	5	284	39	4,699	11,679
746	2,168	148	337	32	511	27	3,894	8,735
1,534	2,165	36	394	41	721	39	5,350	13,116
1,083	657	120	328	79	1,230	66	7,586	16,309
290	1,227	112	182	—	260	13	2,641	7,950
278	124	373	191	—	161	—	540	2,381
360	714	345	313	—	141	4	2,563	5,638
273	29	43	228	2	321	105	3,091	12,927
9,800	10,142	2,349	3,209	289	6,084	689	53,476	116,535

西部マレーシアにおける衛生発展

項 目	増 加		1956年 12月31日 (3)
	1956-1960 (実施済) (1)	1961-1965 (目 標) (2)	
	1 病 院	-	
2 病院ベッド(臨時も含める)	866	1000	20288
3 診 療 班	33	-	151
4 巡回診療班	61	-	85
5 保健所(都市)	19	5	72
6 保健所(農村)	8	37	4
7 単 保 健 所	3	148	-
8 助 産 所	26	652	-
9 歯科医院(臨時も含める)	57	168	71
10 医 師	124	169	376
11 歯 科 医 師	34	48	64
12 看護婦(訓練も含める)	316	1102	1090
13 歯科看護婦(訓練も含める)	66	106	-
14 准看護婦(訓練も含める)	*	830	335
15 病院助手(試用期間中也含める)	*	101	*
16 助産婦(訓練中也含める)	*	704	*
17 衛生検査官(試用期間中也含める)	*	147	*
18 入 院 患 者	65555		
19 外 来 患 者	*		2767959
20 農村衛生事業(診療班、巡回診療班をも含む) 受診者数	*		4492022
21 農村衛生官による応診	252303		529156
22 農村衛生官が扱った分娩	*		*
23 歯科衛生、受診者数	193861		460298

\* 収集不能

\*\* 地方自治体に所属する76人の公衆衛生検査官を含む。



状況(1956年～1965年)

現 在 数						1960年12 月31日よりの 増加累計数 (10)
1960年 12月31日 (4)	1961年 12月31日 (5)	1962年 12月31日 (6)	1963年 12月31日 (7)	1964年 12月31日 (8)	1965年 12月31日 (9)	
65	65	65	65	65	65	—
21102	21278	21747	25191	25575	25848	4786
215	217	222	245	266	283	68
143	144	142	148	155	155	12
124	126	127	128	128	128	4
8	9	21	36	38	39	31
8	11	50	102	107	122	114
26	55	373	440	562	643	617
146	230	267	269	287	322	176
391	419	438	474	487	502	111
86	94	96	107	106	114	28
1366	1606	2084	2335	2535	2631	1245
66	94	94	134	180	280	214
1082	1109	1207	1405	1981	2221	1139
1015	1006	1037	990	1116	1121	106
895	934	1053	1278	1706	1824	929
203	215	212	217	230	289**	86
308385	325427	348414	379432	409124	423393	115008
4296015	4651231	5253617	5396759	5902983	5952787	1656772
5136336	5114419	5682426	6661069	6730457	6969864	1833558
843073	842619	961360	1133855	1292171	1484767	641694
44759	48083	53244	58682	62563	64555	19796
655140	754896	851168	849672	928118	1032040	376900

資料： 各省の月間、季間調査報告をまとめたもの

献血，輸血（1964）

民族別の献血者及び受血者		1964											
		献 血 者						受 血 者					
		男		女		合 計		男		女		合 計	
		人 数	ポイント	人 数	ポイント	人 数	ポイント	人 数	ポイント	人 数	ポイント	人 数	ポイント
マラヤ人	12209	12165½	209	206½	12418	12371½	1269	1981	3627	5217	4896	7198	
中国人	4872	4852¾	196	192¼	5068	5045	2905	5005¾	4445	6898¼	7350	11901	
インド人	4553	4547½	50	49¾	4603	4597¼	994	1555	2194	3018	3188	4573	
その他	3001	3001	155	154¾	3156	3155¾	47	86¼	89	132	136	218¼	
合 計	24635	24566½	610	630	25245	25169½	5215	8628	10355	15265¼	15570	2389¾	

献血者種類および献

献血者の種類		1964									
		登録献血者			献 血 者 総 計						
		男	女	合 計	男		女		合 計		
					人 数	ポイント	人 数	ポイント	人 数	ポイント	
民間	3970	155	4125	9546	9523¾	300	296½	9846	9820¼		
警察関係	878	—	878	1964	1949	1	1	1965	1950		
軍関係	1559	—	1559	4394	4392¼	52	52	4446	4444¼		
親戚	1363	43	1406	8731	8701½	257	253½	8988	8955		
合 計	7770	198	7968	24635	24566½	610	603	25245	25169½		

4年, 1965年)

1965											
献 血 者						受 血 者					
男		女		合 計		男		女		合 計	
人 数	ポイント	人 数	ポイント	人 数	ポイント	人 数	ポイント	人 数	ポイント	人 数	ポイント
13908	1386 $\frac{3}{4}$	258	227 $\frac{1}{2}$	14146	14090 $\frac{1}{4}$	1703	2500 $\frac{1}{4}$	3931	5570	5634	8070 $\frac{1}{2}$
4540	4531 $\frac{1}{4}$	146	144 $\frac{1}{2}$	4686	4676 $\frac{1}{4}$	2999	5186 $\frac{3}{4}$	4300	6426 $\frac{1}{2}$	7299	11613 $\frac{1}{4}$
4572	4564 $\frac{1}{2}$	50	49 $\frac{1}{2}$	4622	4614	1074	1546	2149	2878 $\frac{3}{4}$	3223	4424 $\frac{3}{4}$
2795	2794 $\frac{1}{4}$	133	133	2928	2927 $\frac{1}{4}$	46	82 $\frac{3}{4}$	55	85	101	167 $\frac{3}{4}$
25815	25753 $\frac{3}{4}$	567	554 $\frac{1}{2}$	26382	26308 $\frac{1}{4}$	5822	9316	10435	14960 $\frac{1}{4}$	16257	24276 $\frac{1}{4}$

血 量 (ポイント)

1965								
登 録 献 血 者			献 血 者 総 計					
男	女	合 計	男		女		合 計	
			人 数	ポイント	人 数	ポイント	人 数	ポイント
4173	146	4319	10027	9996 $\frac{1}{2}$	309	301 $\frac{1}{2}$	10336	10298
931	1	932	2471	2468	1	1	2472	2469
2392	17	2409	4698	4696	55	55	4753	4751
1336	19	1355	8619	8693 $\frac{1}{4}$	202	197	8821	8790 $\frac{1}{4}$
8832	183	9015	25815	25753 $\frac{3}{4}$	567	554 $\frac{1}{2}$	26382	26308 $\frac{1}{4}$

資料：輸血季節調査

## 要員訓練計画

訓練センターおよび 学校の種類	数	年間収容人員	期 間
マレイシア大学医学部	1	100-120	6 カ年
看護学校	3	300	40 カ月
歯科看護学校	1	40	24 カ月
歯科技術者養成学校	1	15	24 カ月
准看護センター	16	560	24 カ月
助産婦養成センター	14	350	24 カ月
看護婦，助産婦養成センター	4	188	12 カ月
公衆衛生検査官訓練学校	1	24	1 学年
巡回公衆衛生官訓練学校	1	24	1 学年
マラリア検査官訓練学校	1	60	12 週
診療班養成学校	1	60	36 カ月
放射線学校	1	15	24 カ月
研究所要員訓練学校	1	20	36 カ月
農村衛生担当官訓練学校	2	監督官 80	4 週
		補助員 120	16 週
結核対策訓練センター	1	結核予防監督官 48	4 週
		結核予防補助員 168	8 週
		研究員 10	6 カ月
		X線技師 60	4 カ月

(1961年～1965年)

終了者数 (1961～1965)	訓練中 1966	注
—	274	1963年設立
107 (男)	168 (男)	ベナン設立1947年, クアララムプール設立1959
691 (女)	691 (女)	1959年, ジョバルー設立1960年
147 <sup>*</sup>	115	西部マレーシア外から33人受入れ
30 <sup>*</sup>	31	” 13人受入れ
2,285	399	
1,577	315	
442	176	94人の班を年間2班受入れ
90	7	1959年設立
65	27	1954年設立
89	19	1961年設立
84	46	1956年設立
25	30	1963年設立
75	13	1961年設立
85	25	ジトラ設立1956年, レンバウ設立1966年, 年間
220	33	に40人の監督官と60人の補助員を2組受入れ
437	26	1961年設立
649	70	1961年設立
25	—	1963年設立
99	—	1962年設立

資料：要員訓練センターおよび学校の年間調査報告より

西部マレーシアの主な都市、州における開業医師

都 市	推 定 人 口	医 師			人口に対する 医師の比率
		国 立	民 間	合 計	
カ ン ガ ル ー	7,701	3	1	4	1:1925
ア ロ ー ル ス タ ー	67,202	22	16	38	1:1768
ス ン ゲ バ タ ニ	28,520	5	5	10	1:2852
ベ ナ ン	298,326	50	132	182	1:1639
ブキトメルタジャム	30,785	4	4	8	1:3848
イ ボ	159,727	32	66	98	1:1630
テ イ ビ ン	61,222	11	18	29	1:2111
クアラカングサール	19,388	5	6	11	1:1763
バトウガジャ	12,851	4	1	5	1:2570
カンパール	31,171	2	10	12	1:2598
トレクアンソン	46,933	7	11	18	1:2607
クアララムプール	432,543	157	269	426	1:1015
(ベタリンジャカラングを含む)	96,074	9	22	31	1:3099
セレンバン	66,155	23	35	58	1:1141
マラソカ	88,706	26	39	65	1:1365
ジョホールバル	95,134	44	32	76	1:1252
クラング	40,901	5	10	15	1:2727
ムアール	51,218	7	11	18	1:2845
バトウバハト	51,543	2	13	15	1:3436
セガマト	24,195	3	6	9	1:2688
クアンタン	29,253	11	7	18	1:1625
クアラリビス	11,161	4	—	4	1:2790
クマラトレガンヌー	37,396	9	5	14	1:2671
コタバル	48,390	12	11	23	1:2104
合 計	836,495	457	730	1187	1:1551

(国立・民間)の分類, (1966年1月1日現在)

州	推定人口	医師			人口に対する 医師の比率
		国立	民間	合計	
ベルリクス	111,864	4	2	6	1:18644
ケダ	873,505	38	31	69	1:12660
ベナン	717,104	60	147	207	1:3450
ベラク	1,547,610	80	147	227	1:6818
セレンゴール	1,316,496	185	316	501	1:2628
ネグリセンピラン	480,184	35	47	82	1:5856
マラツカ	383,629	27	39	66	1:5813
ジョホール	1,215,778	67	88	155	1:7844
パハン	399,183	29	24	53	1:7532
トレガンヌー	356,462	16	7	23	1:15498
ケラントアン	636,715	18	16	34	1:18727
西部マレイシア	8,035,530	559	864	1,423	1:5647

西部マレーシアにおける歯科衛

州	国	
	歯科医師	登録歯科医
ペルリス	3	—
ケダ	10	—
ベナン	7	—
ベラク	23	—
セランゴール	23	—
ネグリセンピラン	10	—
マラッカ	9	—
ジョホール	16	—
パハン	11	—
トレガヌ	6	—
ケラント	7	—
西部マレーシア	125	—

\* ベナンの歯科看護学校で訓練中の72人も含む

\*\* ベナンの歯科技術者訓練学校で訓練中の11人も含む



生要員の州別分類 (1966年)

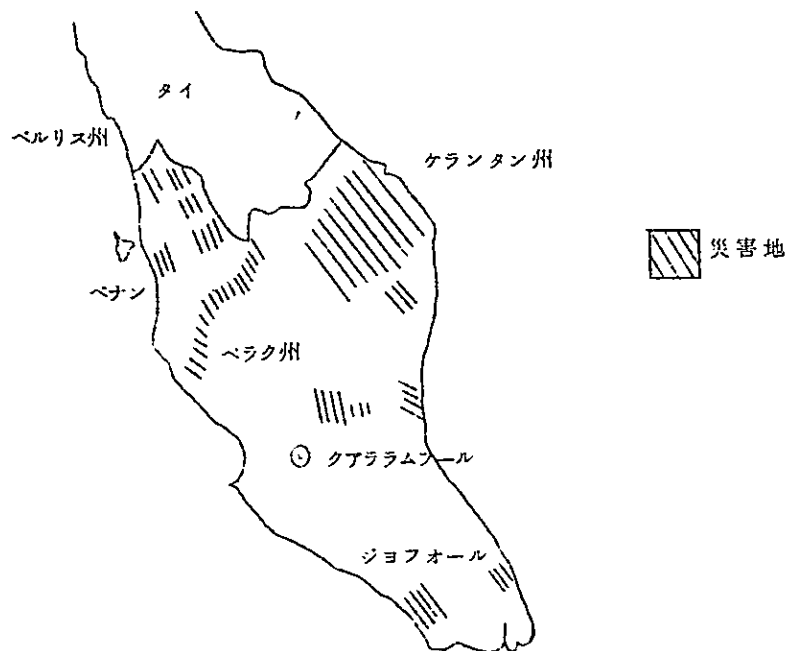
立		民 間	
歯科看護婦	歯科技士	歯科医師	登録歯科医
2	1	—	5
12	4	3	20
93*	15**	12	44
31	7	10	71
25	5	33	104
13	5	4	20
10	2	2	24
20	4	6	78
8	3	4	16
6	2	—	10
7	2	2	15
227	48	76	407

資料：歯科委員会事務局より

1967年マレーシア大洪水

－活躍するマレーシア赤十字社－

## 西部マレーシア災害地域



「国王、隊員の無私の働きに感謝！」

マレーシア赤十字社は社主のYang di-Pertuan Agong氏より提供された貢献によつて、その活動をマレーシア国民の心に深く刻みこんだ。

今日、赤十字運動創始者ヘンリー・デュアン氏を記念すべく設けられた国際赤十字社の日を全世界の人々が祝うにあたり、マレーシア国王はマレーシア赤十字社隊員より寄せられた無私の貢

献に感謝の意を表した。

この欄に国王は特にメッセージを寄せられ、「私はマレーシアにおける赤十字運動は年々強力なものになつていこうと確信している。赤十字は平和な時にも戦争の時にも常に人類への愛情と人間性のために働く真の力を表している」と述べておられる。

「ストレイツ・タイムズ1967年5月8日付記事」より

「赤十字の記録に誇りを！政府も感謝」首相語る。

の Tengku Abdul Rahman 首相は洪水におそわれたケランタン、トレガンヌー、ベラクの各州に於ける赤十字社の偉大な援助に対して政府の感謝の意を表した。明日の赤十字の日を祝うにあたり首相は「今日、マレーシア赤十字社が昨年中に行つた活動の意義を思い起し、評価することが出来るだろう。その記録は真に誇りに思えるものである。特に私は昨年洪水におそわれたケランタン、トレカンヌやベラクの人々に対して行なわれたマレーシア赤十字社や他の国の赤十字社による偉大な援助に注目したいのであります。」というメッセージを寄せられ、更にその活動について「赤十字社が今日まで社会建設のために行つてきた諸々の援助活動の他に、洪水の時の活動だけに対しても政府は心から感謝の意を表すものである。」と述べている。

#### 大 洪 水 お そ う

1967年の正月が明けて間もなく、特にケランタンを中心とする西部マレーシアの各地や、北部のトレガンヌー、バラク、パハン、クタ、ペルリス、ジョホールやペナンの一部に大モンスーンがおそい、相当量の大雨が降り続いていた。西部マレーシアの都市や農村で被害をこうむつた人数は1月5日までに25人に達し、1926年の洪水に次ぐ大洪水となつた。大変な速さでおし寄せてきた洪水のため、住民を避難させる方法を講ずることも出来ず、又洪水警戒注意報も発することも出来なかつた。

この洪水によつて住民は作物、家畜や財産に大損害を受け、何万人という人々が家を失つたり、殺水にあつたり、また災害地域では多くの飢饉にあえぐ人々や伝染病が大流行し、病人が続出していた。一方莫大な被害が初めから予測されていたので、政府や民間団体はそれに対処すべく迅速な対策を立てたが、洪水による被害の全体は水が引いた数週間後になつても明らかにすることは出来なかつた。だいたいの予想被害は6千万マレーシア・ドル（2千万米ドル）であつた。

最も被害の大きかつたケランタン州の次の状況報告をみれば洪水のもたらした被害がいかに悲惨なものであつたかを知ることができるだろう。

- ※ 水にかかった総面積6千平方マイル、場所によつては深さ45フィートのところもあつた。  
全人口64万人の中54万人が被害を受けた。
- ※ 海に流されたものを含めて崩壊家屋は2,400戸、その他大損害を受けた家屋数百戸。
- ※ 流出校舎4を含めて、全部浸水、あるいは部分浸水50校舎。
- ※ 水田耕作用水牛の水死5,700頭、被害金170万マレイシアドル(60万米ドル)。
- ※ 8千頭の牛、53万羽のニワトリおよびアヒルと2万5千頭の羊の水死
- ※ 水死38人
- ※ 1600万マレイシアドル(500万米ドル)相当の水田作物8万エーカーの損害
- ※ 灌漑事業、橋、土木事業、道路、鉄道、電話路網、ラジオ送信センターの崩壊および被害
- ※ 交通機関、保健、医療、教育およびその他諸事業への損害
- ※ 損害額合計2,500万マレイシアドル(800万米ドル)

#### マレイシア赤十字の活躍

洪水におそわれた地域からの状況報告が入るや否や、マレイシア赤十字本社と州支州はそれらの被害に対処するために行動を起した。前もつて警戒体制を整えていた団員達は災害地域に限らず、赤十字州支社のある地域ではどの州でも全力をもつて被害者救援運動に立ちあがつた。首都クアラランプールではセラノゴール支部の団員からBelfield Jalan 519にある赤十字本社に連絡を受けると、まず第一段階として、事務局は災害発生時の常套手段として昔から行なわれている衣類や食糧等の緊急災害援助物資のカンバを呼びかけるアピールを出した。又、新聞、テレビ、ラジオ等の積極的な協力を要請し、次々と声明を発表し一般大衆へ訴えた。その結果多数の人々から大きな暖かい援助の協力を得ることに成功した。アメリカ平和部隊員、ボーイスカウト団員、グイスバクラブ、ルーテル教会、キリスト教青少年奉仕団やYMCA等の一般大衆や外交団やその他の諸団体からの志願による赤十字隊が編成され、隊員達は回教の断食の月にあたる間中、自分達の週末や休日をつぶして延一週間以上も昼夜を問わず救援活動に従事していた。彼等の私欲を離れた貢献に心から感謝し、この小冊子の刊末に協力隊員全員の名前を掲載し感謝の意を表す次第である。

海外の赤十字社やジュネーブの赤十字社連盟も同情のメノセージを寄せ、いかなる種類の援助を必要としているかを問うてきた。TABワクチン125千CC、コレラワクチン100万ダースやその他資金等の援助を提供してきたが、これらの赤十字社がさし延べてくれた暖かいなる援助は赤十字社が世界のいかなる所で起きた災害にもいかに速くより効果的に救援の手をさし延

べることができるかを良く物語るている。

1967年の大洪水災害救援事業に関してマレイシア赤十字社は以前に例のないような大規模な活動を組織し、政府の各省や部局と協力し、連邦、州レベルの救援活動を迅速に実行に移していった。赤十字救援活動を遂行するために本社と各支社の協力のもとに組織された活動は次のようなものである。

- ※ 事務局は隊員達の協力のもとに本社と支社、政府、地域有志団体、会社等の連絡を確保し、活動運営の調整をはかり、その他に本社とノエネーブの赤十字社連盟との連絡及びその他の調整をも行う。
- ※ アピール、感謝の声明、寄附の受け付け及び記録等の仕事も事務局で行う。
- ※ 衣類、食糧、寄金等の戸別訪問カンパは隊員と正規赤十字社員より構成される班によつて行なわれる。
- ※ 救援物資の集荷及び配達、各災害地への発送は飛行機会社や鉄道会社のサービス及び協力によつて行なわれる。
- ※ 救援物資用のコンテナ、プラスチック袋やボール箱は寄附を受けたり、赤十字の基金で購入され、又荷物をしばるヒモ、赤十字のラベル、マジックペン、ノリ等の小さいが必要な諸物資も用意された。
- ※ 寄附を受けたり、衣類の選り分けをしたり、食糧品を個々の容器につめたり、また被害地域の家庭へ効果的に配分するのに適した家族単位用の荷物を作つたりする班が上記の仕事に応じて編成された。
- ※ 配送係はクアラランプールの厚生省に設けられた洪水救援室の要請に応じて送られる荷物の調整と記録を担当していた。
- ※ 各災害地の赤十字社員達は荷物の配分や被害者に対する救援活動に従事していた。救援活動のそれぞれの分野の責任を負っている隊員や社員は次のとおりである。

頭門	Tuan Haji Abdul Khan bin Haji Sakhaat Ali Khan, Tan Sri Abdul Jamil bin Abdul Rais
総括責任	Mrs. D. K. K. Lee, Syed Adam Al-Jafn, Mrs. K. T. Lam
輸送責任	Mr. John Clinton
戸別訪問	Mr. Francis A. Xavier, Mr. K. Veerasingam
寄金受け付け	Mr. Pritam Singh

衣類、食糧の受付け

Mr. Stephen Tan, Mr James Ho

Mr. M Bala, Mr. K PR Simmiah, .

志願隊登録 Miss Y. L. Yoong, Mr. K. Veerasingam Che Yong Suai bah  
Jamil

古物衣類保管 Mr. Robert Chew, Mr. S. P. Samy

古物衣類選別 Mrs, J. S. Ferguson, Mr. S. P. Samy

衣類荷作り Mrs. B. C. Butler, Mrs. L. Dollard  
Mr. K. P. R. Sinniah

箱 集 荷 Mr. S. T. Rajagopal, Mr. D. Jayasekar

食糧荷物発送 Mr. Francis A. Xavier, Mr. M Govind a samy  
Mr. N. Gangatharan

連絡責任 Mr. S. T. Rajagopal

修善責任 Mrs. B. C. Butler, Mrs. Ong thye Ghee  
Miss Q. Mageswary

毛布や衣類の詰った最初の救援物資が、ペラク州支社の緊急の要請に応じて、本社からペラク州イポーに汽車で輸送されたのは1月6日のことであつた。又、7日にはペナン州支社から衣類の詰った2個の大袋がイポーに到着したが、これらの物資はマレーシア・シンガポール航空の善意により無料で空輸されたものである。1月9日にはマレーシア赤十字社の衣類や食糧を詰めた最初の救援物資がトレガンヌーに Tun Abdul Razak 副首相の手によつて空輸され、又、同日ケランタン州にもマレーシア空軍によつて最初の救援物資が送られた。クアララムプールから300マイル離れたトレガンヌーと東海岸では1月10日にマレーシア赤十字社員 Wan Abdullah 氏によつて陸上輸送された赤十字の最初の救援物資を受け取つたが、しかし、彼は帰途道路の浸水のため1月18日までクアララムプールに滞ることが出来なくなつてしまつた。

ペナン州大臣は1月12日のHari Raya Day (回教の断食月の終りを祝う日)に赤十字広報委員長 Mr. John Clinton によつて陸上輸送され第1回目の赤十字救援物資を受け取つた。更にラーマン首相が1月14日から1月17日まで災害地東海岸地域を視察した折りに、食糧や衣類の救援物資をとどけられた。

#### 赤十字救援物資の内容

シャツ1枚、タオル1本、女物ドレス1、ズボン(古物)1足、サロン1、  
短ズボン1足、古物ベーズ1、砂糖1袋、毛布1枚、米2袋、ブラウス1枚  
子供及び幼児用ナフキン、チョンキ1セント

以上がマレーシア赤十字の救援活動の簡単な説明であるが、単に統計的な数字を並べただけでは赤十字社の救援活動の全容を知ることは出来ないで、次に各州の災害地においてどのような救援活動が行なわれたかについて記してみよう。

#### トレガンヌー州(Trenggam)

会社重役であり赤十字団員でもあるWan Abdullah bin Mohamed氏はトレガンヌー州の洪水災害者達への救援物資30世帯分と千本のタバコを持って陸路災害地にむかった。彼は1月10日水曜日午前11時に車でクアラランプールから300マイル離れた災害地への劇的な輸送の旅に出発したのであつた。途中4時30分頃、クアラトレングヌーから70マイル離れたケメンンで4時30分に警察に道路の見通しをたずねたところマイルヒタム附近の道路は深さ3フィートの水につかり水の引きが大変遅く、軽装備の自動車ではとても無理だといわれた。それで彼はケマンンで一夜を明し、11日の朝8時30分に再び出発したが、マイルヒタム附近の道路では最高2フィート8インチまでの深さの水が1マイルぐらいにわたつて依然として道路をおおつていた。ワンアブル附近の道端には約100台位の自動車が動きがとれなく乗り捨ててあつた。多くの運転者達はラジオで道路が不通であると聞いて、引き返すかあるいはバカ駐在所の前に乗り捨てるかしたのであつた。彼は車をフェリーボートで運ぶことにして、25マレイシアドル(約8米ドル)を支払つてトロノコを調達したが、しかし車をフェリーボートで運ぶためにはまず土堤まで車を運び次にボートに乗せなければならないのであるが、それがまた大変な仕事であつた。水におおわれた地帯を通つて車を運転できる地点までボートで行くの約3時間かかつた。そのような困難にあいながらも彼は6時30分にクアラトレングヌーに到着したが、しかし彼の運んだ救援物資を受け取りに現れる者はその晩もまたHari Raya Ruasa(回教の断食日)にあたる翌日になつても誰もあらわれなかつた。更に1月12日800世帯用の赤十字救援物資、粉ミルク8カン、濃縮ミルク15ケース、Hari Raya用の菓子11箱、幼児食糧2ケース、2万本のタバコ等の物資を満載した船ロマンス号がクアラトレングヌーに到着した。1月13日Wan Abdullah氏から赤十字社トレガンヌー州支社長補佐Wan Harun氏とトレガンヌー洪水救援委員長で厚生担当官でもあるInche Mustafa氏の手で正式に渡され



たそれらの救済物資は他の物資と共に警察の倉庫に保管された。翌1月14日土曜日に彼は州情報部で災害状況の説明を受けた後、4時に洪水被害者達に救済物資を配るためにクアラランに向つた。15日クアラランプールに帰るためクアラトレガヌーを出発したが、途中クアラランプールから170マイル離れたクアンタンが再び洪水におそわれ3日間も交通不能となり、クアラランプールに帰りついたのは1月18日水曜日のことであつた。

#### ベラク州

ベラク河沿の町バトリでは1月5日の正午間もなく赤十字のある団員が河の水かさが異常の早さで増していると連絡してきたので、ベラク州バトリ地区団員Mr. N. S. Lewoは警察や地区担当官庁に連絡をとつたが、なんの確認を得ることが出来なかつた。しかしランジャヤ村のベンゲル地域が洪水におそわれたとの連絡をさかえに4時頃までに各地の緊迫した状況が次々と赤十字班にも知らされてきた。団員達はすでに集つて任務の分担や赤十字センターの建設について討議していた赤十字団リーダー達に次々と電話連絡を取り始め、最初11人の団員が洪水発生から1時間後に連絡を受け、次に25人の赤十字団員達が災害救済の仕事に取りかかつた。まず6人のメンバーから構成される応急看護班と8人のメンバーから構成される救助班の2班が編成され、応急看護班はイスカンドラ・シャー学校( Iskandra shah school )に設けられた避難センターで、救助班はチャンファ学校( Chung Hwa school )でそれぞれ仕事を開始した。又各班の仕事の調整を行つたり、イスカンドラ・シャー学校に設けられた第2救済事業室との業務連絡を密にするために係官や団員で構成される赤十字連絡センターがチャンファ学校に設けられた。事態が最も緊迫してきた1月5日の午後7時15分頃までには各班の機能は十分に整えられ、昼夜を問わず救済活動に従事していた。

各チームのメンバー達ははげしく流れる水を押し分けてすでに軍の運搬機関や個人のボート等で避難所に逃れてきていた災害者達の救済に出かけていつた。また他のメンバー達は軽傷の被害者達の応急措置をしたりしたが、緊急用の医療物資を政府から受けとることが出来ず、団員達の限られた基金をさいて医薬品の購入をしなければならなかつた。バトリ地区医療保健官のOh博士は重傷者の治療に全力であつたが、心臓衰弱の患者一人が死亡し、他の者はインフルエンザ、熱病、ぜんそく、貧血で苦しめられていた。

1967年1月6日午前2時頃 Inche Zain 氏の乗つた小型ボートマリアナ号はタンジョンブランジャヤでサンバンが電話柱に衝突し遭難している6人の生命を救つた。その頃タンジョンブランジャヤ村は深さ12フィートの激流に洗われていたのであつた。セイラフオ・エステイト会社支配人Mr. A. H. Woodはお茶、ビスケット、粉、砂糖、油、ミルク、石けん等の救済物資

を購入し自分の地域の災害者達に与え、更にカンパントアの水道施設がこわれ断水になつていた時自分のポートで400ガロンの水を選び地域住民に給水していた。また公共事業部の Inche Zain bin Mohd Yassin 夫婦は自分達の家を赤十字センターが援助物資の保管倉庫や配送所として使用することを許可し、彼等自からも救援活動の手伝いをしていた。

看護婦や保母の資格を持つ赤十字社の女性団員達はMiss Ang Kwat Kooの指揮のもと子供や幼児の世話をしたり、避難する2時間前に出産した母親の運搬等に夜も眠らず貢献していた。またMr Wong Hai Chuはなにか重いものが倒れてきた時自からも負傷したが、救助班を指揮し村や町で夜もタイ松の光を使つて人々を避難させたり、家具類を高い所に移す仕事に全力を尽していた。

その他にマレーシア特有の複雑な人口構成上からも、赤十字社のメンバー達は言葉の通訳の仕事もしなければならず、その他に救援世帯の登録をも手伝わなければならなかつた。又他のメンバー達は救援事業部から各避難センターへの連絡や災害者やその親戚、友達の連絡に洪水発生の夜から引続き従事していた。更にメンバー達は個人的にもビスケットの大カン4個や濃縮ミルクを購入し、洪水発生の最初の夜に子供達に分け与えている。着古しの衣類も配分されたが量が充分でなく3,000人の避難者の5%位にしか行き渡らなかつた。その他赤十字団の訓練用毛布も被害者達に与えられた。

1月9日になつて水はやつと引き始めたので、救助班は軍のトラックに被害者達の持ち物や家具類をつみこみ各自の家へと運んだり、又他の班員達は主に年寄りの家庭へ行つて泥をかぶつた家の掃除の手伝いをした。第9赤十字青少年班はリーダーのMr. Lim Kui San, Mr. Leow やMiss Ang Kooのすぐれた指導のもとにバリントにおいて素晴らしい救援活動を行つた。救援活動全体を通して、赤十字各班と救援事業部の協調関係は大変よく立派に行なわれた。ペラク州に於ける洪水の損害の全容はまだ明らかになつていない。しかしペラク川の水がさは最高79フィートまで上がり、その川にかかるノーデン橋は水が引いた3週間後になつても洪水によつて大きく破壊され交通不能となつている。又100万マレーシアドル(35万米ドル)を費して新に建設されたイドリス橋は、橋のたもとに大きな穴をあけられ流されてしまった。

#### バハン州

赤十字広報委員長Mr John Clintonはバハン州の東海岸の町クアンタンへの救援物資の輸送を引き受け、50世帯用の食糧、衣糧、濃縮ミルク6ケース、ジュンメクス4ケース、ラクトジェン1ケースと1万本のタバコをトラックに積んで、テメロー地域のバハン川にかかつている橋の交通が再開されたすぐ後の午後4時頃災害地へ向つて出発した。彼によつて輸送され

た物資はバハン州大臣 Tok Pentara Raja Yahya bin Haji Mohamed Sah 氏に災害地の住民への緊急の救援物資として引き渡された。

#### ベナン州

1月6日マレイシア赤十字ベナン州支社では新聞を通して、被害者救援のために食糧、衣類、毛布等のカンバのアピールを行つた。その結果一般大衆から大きな支援の手がのべられた。一般大衆から寄せられた物資の選別や包装をした後、ベナン州支社長の Mrs. Lee Kee Pin や Mr. Khoo Leong Hun や係官、隊員達によつて救援物資が1月8日に輸送された。一行はバリノで地区担当官に会い、クアラケテルやバトカカに建られた避難センターに向い、赤十字本社から送られた16世帯分の救援物資や、大量のウドンや衣類を避難していた150世帯の被害者達にとどけた。又ベナン州ウエルズレー郡地区では洪水が発生した1月13日に、ウエルズ郡中央バス会社 (the Central Province Wellesley Bus Company) からバス1台とユナイテッド・トランスポート会社 (United Transport Company) からジープ1台を借り、赤十字の救援物資を運びさらに1,000人の災害者達に配けた。災害地域によつてはジープしか行くことができず、激流の浸入を押えている土堤づたいにジープを進め災害者達に物資を渡さなければならない所も数多くあつた。

このような大規模な救援活動の結果、5千枚に及ぶ衣類、米3袋、米ミルク、濃縮ミルク11ケースが合計12の村に配られ、その救援活動はさらに継続されている。

マレイシア赤十字社は洪水におそわれた地域の復興への継続的な援助と災害地の生活を1日も早く正常の状態に回復させるために全国的規模の援助を決定し、更に学校用テキスト、練習帳や住宅等の特定の項目についての援助も現在検討中である。

#### 協力者名簿

マレイシア赤十字社は1967年の大洪水におそわれた災害者達への緊急救援活動の際寄金、サービス等の絶大なる御支援を与えて下さつた次の人々、会社、団体やその他の諸団体に心から感謝の意を表明する次第であります。

各国赤十字社からの寄附 (赤十字社連盟を通して)

米 国 赤 十 字 社	9,177.82 マレイシアドル
オーストラリア赤十字社	T A B ワクチン 4万 c c
タスマニアン青少年赤十字	石けん 273個
	ベビー用具 31式

英国赤十字社	T A Bワクチン2 5千c c
英国赤十字香港支社	T A Bワクチン1万c c
カナダ赤十字社	1 4,059.65マレイシアドル及び330万ドル 相当の衣類
デンマーク赤十字社	T A Bワクチン1万c c
ギリシャ赤十字社	M Lワクチン20のビン1千本
インド赤十字社	衣服750枚及び布500メートル
日本赤十字社	タオル3,600本
日本青少年赤十字	タオル2,900本
韓国赤十字社	609.52マレイシアドル
ニュージーランド赤十字社	2,101.00マレイシアドル
フィリピン赤十字社	1,50000マレイシアドル
サウジアラビア赤十字社	13,596.76マレイシアドル
シンガポール赤十字社	1,203.08マレイシアドル及び古物衣類と食糧
南アフリカ赤十字社	1,40979SWフラン
スウェーデン赤十字社	T A Bワクチン2万c c
タイ赤十字社	3,04173マレイシアフラン
トルコ赤十字社	レイヨン布地5千メートル
各国政府府より	
イラク政府(WHOを通して)	コレラワクチン100万ダース
マレイシア赤十字社各支社より	
シンヨホール支社	
アイエールパロイ支部	25500ドル及び古物衣類
パトゥバハト支部	320.50ドル
バンテイアン支部	188.40ドル
セリブライ支部	35.00ドル
スンガイリガン支部	12500ドル及び古物衣類

マラソカ支社	
Mr Enche Adjimbin Andon	25,250ドル
チューホン地区	1230ドル
ノヤシン11地区	850ドル
18地区	3180ドル
ノヤシン支部	300ドル
バハン支社	
2地区	25090ドル
ベナン支社	古物衣類
ベリス支社	古物衣類
サバ支社	50000ドル及び古物衣類
サラワク支社	
シブ支部	50000ドル
Dr. David Kok Kuching	5000ドル
セラノゴール支社	
クラノ支部	50500ドル及び古物衣類
クアラランガ支部	138,000ドル及び古物衣類
クアララムブール支部員	38186ドル及び古物衣類
クアラセラノゴール支部	古物衣類
サバベルナム支部	16900ドル
トレガンヌー支社	
クアラトレガンヌー支部	
会社、協会、団体及び学校より	
アスンタ病院(Mr L. Carrolを通して)	古物衣類
ピアトリス食品	カンミルク9,600カン及び衣類その他
B.デーン会社	スポーツシャツ58枚 ジャシー 88枚
クアララムブール自動車会社	タオルシャツ15枚, 皮上着12枚, シャツ12枚,ズボン41本, クツ27足

デュメソクス会社	ベビーフード20箱, 粉ミルク20箱
クアララムブールイースタン・サン	古物衣類
ベタリノノヤプラスチック連盟	プラスチック容器2ダース
ゲストイトウナー	食糧
クログンルクストー	砂糖1袋, 米1袋
クフム・ハノセン	古物衣類
ハンメイエ貿易	キャノノ毛布125枚
ホノ・テイ茶園	10000ドル, レモンティ袋2,400
ホルリノク会社	10ポンドサイズホルノノクスカン40個
	ガラスミキサー2ダース
ノウブリー会社	食糧
クアララムブール農園連盟	古物衣類
クアララムブール石油貿易	アルミ料理ナベ259個, フラスチノク大コノブ 339個, 4テーブル, 毛布200枚
クアララムブールクマール教育会社	古物衣類
クアララムブールロノクユエンホテル	食糧及び古物衣類
マラヤ堅紙容器製造	ダンボール260箱
マラヤ印刷	ラベル4千枚
ネスル製造	ボール箱200, ニカワ3ビン, テープ4まき, ミルク10ケース, ラクトノエン5ケース
クアララムブールナンヤン書店	マノクペン1ダース, ノリテープ4まき, ゴム 輪3つつみ
クアララムブール海外銀行	古物衣類
ビファイザール商会	幼児用食品166カン
ボールマール・ロママンズ商会	100万ドル, タバコ10万本, 物資運搬手段の 提供とボール箱, ノリテープ, ニカワ等の提供
クアララムブールバハンカルサ商会	5100ドル食糧
ポートデイクソンンエル精油	古物衣類
クアララムブールシンロンク	新物ノヤツ, ブルース49枚
サックチャン兄弟会社	古物衣類

アメリカ平和部隊(戸別訪問)	古物衣類
キャスルキャンブボーイスカウト	古物衣類
チャルバアライ アセンブル	古物衣類
ブリックフィールド ファティマ婦人教会	古物衣類
マレーシア衣料製造協会	シャツ及びズボン2432枚
クアララムブルゴスベルホール	古物衣類
ベタリングジャゴスベルホール	古物衣類
ブリックフィールドグルネー訓練所	古物衣類
インナーウエールクラブ	古物衣類
クラノクラブ	古物衣類
クアララムフルライオンクラブ	古物衣類
マレーシアカソリック厚生会	古物衣類
マレーシアカソリック厚生会	10000ドル, 古物衣類
クアララムブル衛生会	古物衣類
王室アンティデリュヴァン プアファロー勲章	
8224会員	5000ドル
同ノガポール会員	5000ドル
マレーシア測量研究所	25000ドル
セラノガータノタカルサデイワン	20000ドル
ベタリングジャメソノスト教会	古物衣類 食糧
シンガポール共同奉仕会	古物衣類
グイスバクラブ	古物衣類
ブリックフィールド・ファティマ婦人教会	
グインセントドポール会	古物衣類
ベタリングジャアサンブション教会	
グインセントドポール会	古物衣類
全国婦人協会	ミシンの貸与
ブリックフィールドファティマ婦人教会	
キリスト教青少年奉仕団	古物衣類
バド清心教会	

キリスト教青少年奉仕団	古物衣類
キリスト教青少年協会	古物衣類
キリスト教少女協会	古物衣類, 食糧
スンゲイベイスイ 12MD	
「A」 会	古物衣類
M. A. R. A. (厚生省を通して)	古物衣類
バタリノグノヤ聖アノネ幼稚園	古物衣類
クアララムプール コンベントナナス修道院	古物衣類
クアララムプール コンベントナナス修道院	
少女キリスト会	古物衣類
カーテンハウス中学校	2700ドル, 古物衣類
カンボン バアル中学校	古物衣類
カンドンバアル女子中学校	古物衣類
ラ・サール学校校長, 職員	古物衣類, 食糧
メノジスト女子中学校	古物衣類
メノジスト男子校	古物衣類, 食糧
メノジスト中学校(男子校)	
校長, 職員	古物衣類, 食糧
メノジスト中学校	古物衣類, 食糧
Sekolah Menengah Rendah Rengam	古物衣類, 食糧
サバ州Sekolah Kebangsaan	古物衣類, 食糧
ラサールSekolah Kebangsaan	12885ドル
ブリノクフィールド・テンブルロード学校	古物衣類, 食糧
クアララムプール・ビクトリア学園	古物衣類, 食糧
同最高理事会	古物衣類
マラヤ・ウアアルネ会社グループ	1,000,000ドル
クアララムプール全聖教会	古物衣類

個人による協力者約400名(ここでは特に氏名の掲載せず)……訳者注



赤十字本社に与えられた航空会社、鉄道会社、船会社によるサービス

BOAC (英国), CPA (キャノー航空) ハリソン・クロスフィールド (サバ州) ハーバー  
・ギルフィラン, K. L. M., ルフトハンザ航空, マレイノア・ノンガポール航空, カンタス航  
空, オーストラリア空軍, スイス航空, タイ航空

#### 外交団体関係

米国外使館, カナダ高等弁務官

#### 政府関係

国防省, 保健省, 情報放送省, 厚生省, マレイノア警察

#### 会社、団体、協会、学校関係

アノバン・ロード女子中学校, ビイキノトビンタン女子中学校, グドシエバード・キリスト教  
会, グルネイ訓練所, インタアク1クラブ (高等学校), カンバン・パール女子中学校, マアリ  
ー連盟, 聖マアリー中学校, ビールロード修道院, バイオニアリング社会 (高等学校), クアッ  
ラムブール・セタバツク, ホールマール・ロスマノス会社, クアララムブール60番番教中学校,  
クアララムブール40番スカウトオープンクラブ, ノアンノン高等学校, 青年団, スターアート, ヴ  
イスバクラブ, ヴィクトリア学園, トリスト教青年奉仕団, Y M C A,

#### 報道関係

A P通信, ベリタハリアン, 中国通信, イースタンサン, マレーメール, マラヤサマカル,  
ナヤンシヤンバウ, ルユター通信, ノンチユジーボー, ストレイツエコー, ストレイノタイムズ,  
サンデーギャゼット, タミールネイサン, ウマアノメラユ

個人による協力者約230名 (氏名の掲載は特に省略……………訳者注)

#### 赤十字クアララムブール支部各地区の団員

第1地区—18名

第2地区—16名 (女性のみ)

第3地区— 8名

第4地区— 9名

第5地区—17名

第6地区—18名

第7地区一 6名

第8地区一 12名

第9地区一 9名

※( 訳者注 ) 団員氏名は特に省略, 以後同じ

#### 青少年赤十字班

アンパン・ロード女子中学校, チェラス・ロード中学学校, ブリンクフィールド・ラサール学校, ビール・ロード学校, ヴィクトリア学園 Sekolah Aminuddin Bakri Kampong Padan

#### 衣領寄附者氏名一省略

#### 赤十字基本原則宣言

##### 人 道

赤十字は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字はすべての国民間の相互理解、友情協力及び堅固な平和を助長する。

##### 公 平

赤十字は国籍、人種、宗教、社会的地位、または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字はただ苦痛の度合に従つて個人を救うことに努め、その際、最も急を要する困苦をまつききに取扱う。

##### 中 立

すべての人々からいつも信頼を受けるために、赤十字は戦闘行為の時いづれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも政治的、人種的、宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。

##### 独 立

赤十字は独立である。各国赤十字社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字の諸原則に従つて行動できるように、その自主性を保たなければならない。

篤 志

赤十字社は利益を求めない奉仕的救護組織である。

単 一

いかなる国にもただ一つの赤十字社しかあり得ない。赤十字社はすべての人々に門戸を解放し、その国の全領土にわたつて人道的事業を行なわなければならない。

世 界 性

赤十字は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

赤十字評議員

委 員 長

Y. B. Tuan Haji Abdul Hamid Khan  
bin Haji Sakhawat Ali Khan

副 委 員 長

Y. B. Tan Sri Abdul Jamil bin Abdul Rais

副 委 員 長

Y. B. Tan Sri Q. Shelley

会 計

Mr. W. Fernando

アピール委員会

委 員 長

Mr. B. Rossi

世界赤十字デー

委 員 長

Y. M. Tan Sri Tunku Mohamed bin  
Tunku Besar Burhanuddin

全国訓練委員会

委 員 長

Dr. V. Ganeshan

広報委員会

委 員 長

Mr. J. E. D. Clinton

評議会会員

Lady E. Walker

Tuan C. M. Seth

Mr. V. M. Hutson

Datin Habibah binte Tuan Haji

Abdul Malek

	Dr. A. R. Wilson
	Mr. John Eu
	The Hon'ble Mr. Gurdial Singh
	Che Fatimah Mokhtan
	Mrs. Yong Pung How
各省代表委員	
国防省	R. S. Corbitt 大佐
保健省	Mohd. Din bin Ahmad 博士
	L. W. Jayasuria 博士
教育省	Miss C. White
衛生省	Dato Haji Anjang Saith bin Haji Abbas
各州支社代表委員	
ペナノ州	Ooi Kee Wan 博士
	Mrs. Lee Kee Pin
	Mr. Paul Lim
	Mr. Khoo' Leang Hun
ヘラク州	Puan Kamsiah Ibrahim
	Mr. Joseph Pragasam
ヒラノゴール州	Mr. Tong Kok Teck
	Mr. R. David
ネグリセンピラン州	Enche H. A. M. Tahir
	Chung Keat Saik 博士
	Mr. M. S. Maniam
マラノカ州	Enche Abas Rashid
	Enche Chong Yean Kin
ノヨホール州	Y. M. Raja Ahmad
	Enche A. S. Omar
バハン州	Enche Abu Bakar bin Zainal
	Enche Yeo Kim Tang
	Enche T. Balwant Singh

ベルリス州 Ruby Majeed 博士  
 Mr. Beh Chye Chye iPhh  
 トレンガヌ州 Y. M. Tunku Abdul Jalil  
 Y. M. Raja Mehd Noor  
 セラワク州 William Tan 議員  
 Mr. Tan Nyit Chin  
 サバ州 Mr. Wong Thau Sem  
 全国書記 Mrs. D. K. K. Lee  
 マレイシア赤十字本社 519, Jalan Belfield Kuala Lumpur  
 Tel 83064  
 夜間 52526, 83580, 69815  
 ジョホール支社  
 No. 6 Merdeka Park, Jalan Bukit Meldrum, Johore Bahru, Johore  
 メラッカ支社  
 Dewan Hang Tuah, Melaka, Tel 4601  
 ネエグリセンビイラン支社  
 C/O Lian Seng Transport Co., 50 Cameron Street, Seremban,  
 Negeri Sembilan Tel 3121/2652  
 パハン支社  
 Enche Abu Baker bin Zaimal  
 Jabatan Pelajaran Dewasa Negeri, Kuantan, Pahang  
 Tel Office 636, House 136  
 ペナン支社  
 57, Mac Alister Road, Penang Tel 64365  
 ベラク支社  
 6, Woodward Road, Ipoh Tel 4174  
 ベルリス支社  
 C/O D. I. D. Kangar, Perlis Tel 2040  
 サバ支社  
 P. O. Box 186, Jesselton, Sabah Tel 2647

サラワク支社

Mosque Road, Kuching, Sarawak, Tel 2351

セラシゴール支社

519, Jalan Belfield, Kuala Lumpur Tel 83064

トレガヌー支社

C/O Pejabat Surohanjaya Perkhidmatan Negeri Kuala Trengganu, Trengganu Tel 241

